

レッスン

信仰について

AT ジョーンズと EJ ワゴナーによる書籍『Lições de Fé』の書誌的レビュー。

序文

前世紀の終わり近くに、主はEJワゴナー牧師とATジョーンズ牧師を通してSDAに正義のメッセージを送られました。このメッセージは、ミネアポリスで開催された 1888 年の総会とその後の 10 年間で強調されました。

E. ホワイトは、それが全地球を栄光で照らす第三の天使の大きな叫びの始まりであると特定しました。大きな叫び声は山火事のように広がりました。しかし何が起こった？ 1世紀経った今でも私たちがイエスの再臨を待っているという事実は、光が受け入れられなかったことの恐ろしい証拠です。

1895年、E・ホワイトは、キリストの委任された使者と彼らもたらしたメッセージを拒否する者はキリストを拒否していると警告した。「これは単なる興奮であり、聖霊や天から降る雨のシャワーではない」と言う人もいます。御霊を養わない不信仰な心がありました。1901年に彼女は、不服従のせいで、私たちはさらに何年もこの世界に残らなければならないだろうと書いた。(伝道505)。以来、100年以上が経過しました。神がワゴナー牧師とジョーンズ牧師を通して送った正義のメッセージに対して、今日私たちはどのような態度をとっているのでしょうか。私たちはこの光に抵抗しているのでしょうか？少なくとも私たちはこれが何についてなのか知っていますか？『牧師への証言』91ページには、これらの牧師たちが貴重なメッセージを携えて送られたと述べられています。同じ章(96ページ)では、神が彼らに与えたメッセージはいつまで拒否されるのかという質問がなされています。私たちは、主がこれら牧師たちを通して与えてくださった光は、長年にわたって知られていなかったと信じています。しかし今、主はもう一度、私たちにこの光をもたらすために聖霊を送ってくださいました。教会の書店(米国)ならどこでも、ワゴナー牧師の著書『キリストとその正義』と『良い知らせ』が現在入手可能です。この本の私たちの目的は、彼らの資料をより多くアクセスできるようにすることです。主は人生におけるサタンの力を打ち破り、永続する義をもたらすために光を送られました。イエスへの信頼に満ちた心で祈り、イエスの御霊を飲み、全地を栄光で照らす光を喜んで受け取ることができるようにしましょう。

ジョンとエローラ・フォード - 1977年11月1日 - 原文発行者: Pacific Union College Press (CA)

索引

1 - 信仰によって生きる.....	07
2 - 信仰についての教訓.....	15
3 - 忠実な言葉.....	21
4 - あなたは邪悪な人ですか?.....	28
5 - 永遠の福音.....	33

6 - 信仰と法.....	41
7 - 恵みか罪か.....	55
8 - 神の不変の約束.....	71
9 - 御霊のうちに歩みなさい.....	83
10 - 完璧であれ.....	97

1 - 信仰によって生きる

「義人は信仰によって生きる」(ローマ 1:17)

この言葉は、使徒が福音について説明したいことの要約です。福音は救いをもたらす神の力ですが、それは「信じるすべての人、すべての人へのみ与えられます。」で

福音は神の義を明らかにします。神の正義とは神の完全な法であり、神ご自身の義なる意志を転写したものにほかなりません。すべての不義は罪、つまり法律違反です。福音は罪に対する神の救済策です。したがって、神の働きは人々を法と調和させること、つまり、正しい法の働きが人々の生活の中に現れるようにすることにあるに違いない。しかし、これは完全に信仰の働きです。神の正義は「信仰から信仰へと」発見されます。「義人は信仰によって生きる」と書かれているように、最初の信仰と終わりの信仰です。これは人間の墮落以来、常に当てはまります。そして、神の聖徒たちが額に神の名を書き、ありのままの神を見るまで、それは続くでしょう。使徒はハバククの言葉を引用しました（2:4）。もし預言者たちがイエスを啓示していなかったら、最初のクリスチャンたちは旧約聖書しか持っていなかったのも、イエスを知ることができなかったでしょう。古代の人々が信仰について不完全な考えしか持っていなかったと言うことは、その時代に義人は存在しなかったと言うことと同じです。しかしパウロは初めに戻り、救いの信仰の例を挙げます。「信仰によって、アベルはカインよりも大きな犠牲を神にささげ、それによって自分が義人であるという証を得た」（ヘブル11:4）と書かれています。またノアについては、信仰によって箱舟を建て、その中に自分の家が救われたとも記されており、「信仰はそれによって世を罪に定め、信仰による義の相続人となった」（ヘブライ11:7）。それは救いの信仰であり、それはキリストへの信仰であり、それはイエスの名によるものでなければなりません。「天の下で、私たちが救われることのできる名前は、これ以外に人間の間に与えられていないからです」（使徒言行録4:12）。多くの人は、過去世の罪に対する赦しの必要性を理解したときに実践した信仰の強さでクリスチャン生活を送ろうとしています。彼らは、神だけが罪を赦すことができ、神がキリストを通して赦してくださることを知っていますが、いつかこのプロセスを始めたのだから、今は自分の力でその過程を続けなければならないと考えています。多くの人がこのような考えを抱いていることを私たちは知っています。私たちが知っているのは、第一に何人かの人々から聞いたことがあるからであり、第二に、自分たちの能力を決して超えていない力の働きを明らかにするクリスチャンを自称する人々が、まさしく多数存在するからである。社交的な集まりで、「救われるためにクリスチャンになりたい」という繰り返しの定型のほかには何か言うべきことがあるとすれば、それは彼らの過去の経験、初めて信じたときに味わった喜びにほかなりません。主のために生きること、信仰によって主とともに歩むことの喜びについて、彼らは何も知らず、主について言及する人は誰でも、彼らにとって奇妙に思える言葉で話します。しかし使徒は、次の結論のたとえの中で、この信仰の主題を同じ栄光の王国にまで及ぶものとして明確に示しています。そして、捕らえられる前に、彼は神を喜ばせたという証言を持っていました。しかし信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。神のもとに来る者は、神が存在し、神を求める者たちに報いてくださる方であることを信じなければならないからである」（ヘブライ人への手紙11:5,6）。

エノクが信仰によって導かれたということを証明するためにどのような議論が使われているかに注目してください。エノクは神とともに歩み、神を喜ばせたという証しを持っていました。しかし信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。上記を証明するにはこれで十分です。信仰がなければ、私たちが行っていく行為も神の承認を得ることができません。信仰がなければ、人間ができる最善のことは、神の完全な正義である唯一の有効な規範からは限りなく遠く離れています。信仰はどこにいても良いものですが、過去の罪の重荷を取り除くための神への最善の信仰は、試練の時間が終わるまで絶えず増加し続けなければ、誰の利益にもなりません。

私たちは多くの人が、善を行うことがいかに難しいかを表現しているのを聞いてきました。彼らのクリスチャン生活は最も満足のいくものではなく、失敗ばかりが目立ち、落胆に負けそうになりました。失敗が続くと落胆するのは当然のことです。

誰かを落胆させることができる。世界中で最も勇敢な兵士であっても、すべての戦いで敗北を喫すれば、結局は落胆してしまうでしょう。こうした人々が自分自身への自信がなくなったと嘆くのを聞くのは難しくありません。哀れな魂の皆さん、もし自分自身への自信を完全に失い、救う力のある方にすべてを委ねることができれば、また新たな証しをすることができるでしょう。そうすれば彼らは「主イエス・キリストを通して神の栄光を讃える」でしょう。使徒はこう言います。「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。」（フィリピ 4:4）誘惑に遭ったり苦しめられたりしても神を喜ばない人は、信仰の戦いを善戦していないことになります。あなたは自信と敗北の悲しい戦いを戦っています。究極の幸福はすべて勝者に約束されます。イエスはこう言われました。「勝利する者に、わたしは彼をわたしとともに王座に座させます。わたしがそれに打ち勝ち、父とともに御座に座したときも同様である」（黙示録 3:21）。「勝利する者はすべてのものを所有するであろう」（黙示録 21:17）。勝者とは勝利を収めた人のことです。

相続物は勝利ではなく、勝利に対する報酬です。勝利は今です。勝ち取られるべき勝利は、肉の欲望、目の欲望、人生の誇りに対する勝利、自己と利己的な放縦に対する勝利です。戦って敵が逃げるのを見る者は喜ぶことができます。敵が逃げるのを見たときに得られる喜びを奪うことは誰にもできません。自己や世俗的な欲望と絶え間なく闘い続けなければならないという考えにパニックを感じる人もいます。これは、彼らが勝利の喜びをまったく知らないからにすぎません。敗北しか経験していない。しかし、継続的な勝利がある場合、継続的な戦いは苦痛ではありません。勝利のために戦いを数える人は、戦場で再び自分自身を見つけることを望んでいます。アレクサンダーの指揮下にあった兵士たちは敗北を知らなかったが、常に新たな戦いを待ち望んでいた。彼の精神のみに依存した勝利のたびに、彼の力は増大し、その代わりに敗北した敵の力は減少した。さて、私たちはどうすれば霊的闘いにおいて継続的な勝利を勝ち取ることができるのでしょうか？最愛の弟子の言葉を聞いてみましょう。

神から生まれた者は世に打ち勝つ。これが世、すなわち私たちの信仰に打ち勝つ勝利である」（1ヨハネ 5:4）。パウロの言葉をもう一度読んでみましょう。そして私が今肉体で生きている人生は、私を愛し、私のために身を捧げた神の御子への信仰の中で生きています。」（ガル。

2:20）。ここに強さの秘密があります。その働きを行うのは、天と地のすべての力が与えられた神の子キリストである。心の中に住んで働きをなさるのが主であるなら、勝利を勝ち続けることが可能であると言うのは自慢でしょうか。確かに、それは誇ることで、それは主にあって誇ることであり、それは完全に合法です。詩編作者は、「エホバにあってわたしの魂は栄光を受けるでしょう」と述べています。そしてパウロはこう付け加えています。「しかし、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇ることはありません。この十字架によって、世は私に対して十字架につけられ、私も世に対して十字架につけられました。」（ガラテヤ 6:14）。

アレクサンダー大王の兵士は無敵であるという評判がありました。なぜ？それは彼らが敵よりも強い力と勇気を自然に持っていたからでしょうか？いいえ、はい、彼らはアレクサンダーの指導下にあったからです。彼の強さは指揮官にあった。他のリーダーシップの下では、彼らは頻繁に敗北を喫しただろう。北軍が敵にパニックを起こして撤退していたとき、ウィンチェスターでシェリダンの存在が敗北を勝利に変えた。

彼がいなければ兵士たちは動揺する塊であったが、彼を先頭にすれば彼らは無敵の艦隊だった。戦いの後にこれらの勝利した兵士たちのコメントを聞いていたら、喜びの表情を交えて彼らの将軍に対する称賛を聞いたことでしょう。彼らは上司がいたから強かったのです。彼は自分を活気づけたのと同じ精神で彼らにインスピレーションを与えました。

さて、私たちの船長は万軍の主です。彼は主な敵と対峙した。

悪い状況でも彼は勝った。彼に従う者は皆、常に勝利を収めるために行進します。ああ、もし神に従うと公言する人々が神に信頼を寄せるなら、彼らは繰り返し勝利を収めることによって、暗闇から彼らを呼び出された神に賛美をささげるでしょう。

彼の素晴らしい光に。ヨハネは、神から生まれた者は信仰によって世に勝つと言いました。信仰は神の腕の上であり、神の強力な力が働きを成し遂げます。神の力はどのようにして人間の中で働き、自分では決してできなかったことを成し遂げることができるのでしょうか。誰も説明できません。それは神がどのようにして死者に命を与えることができるかを説明するのと同じことでしょう。イエスはこう言われました。「風は思いのままに吹き、その声は聞こえますが、それがどこから来てどこへ行くのかはあなたにはわかりません。御霊によって生まれた者は皆同じです。」(ヨハネ 3:8)。御霊がどのようにして人間の情熱を抑え、高慢、ねたみ、利己心に打ち勝つために人間の中で働いているかは、御霊だけが知っていることです。これが何よりも自分自身の中でそのような働きを望み、その達成を神に信頼しているすべての人にとって、これが今、そしてこれからもそうなるだろう、ということ私たちが知るだけで十分です。ピーターが押し寄せる波の間の海の上を歩くことができたメカニズムを誰も説明できません。しかし、私たちはこれが主の命令によって起こったことを知っています。マスターを見つめながら、神の力によって彼はまるで堅い岩を踏むかのように楽に歩くことができました。しかし、あなたも自分がその偉業を成し遂げたかのように、おそらく自分のやっていることに誇りを感じながら、波を見つめ始めたとき、ごく自然に彼は恐怖に陥り、沈み始めた。信仰のおかげで彼は波の上を歩くことができましたが、恐怖のおかげで彼は波の下に沈みました。

使徒はこう言いました。「信仰によって、エリコの城壁は七日間包囲した後に崩れました」(ヘブライ人への手紙11:30)。なぜそのようなことが書かれたのでしょうか？それは、「忍耐によって希望を持つため」(ロマ15:4)という私たちの教えのためです。ということは？おそらく私たちは、武装軍隊と戦い、要塞都市を占領するよう求められるのでしょうか？いいえ、「私たちは血肉に対して戦っているのではなく、支配者に対して、権力に対して、世界の支配者に対して、この暗闇の支配者に対して、空中の霊的な邪悪に対して戦っているからです」(エフェソス 6:12)。しかし、肉の目に見える敵に対して、神への信仰によって勝ち取られた勝利は、この世界の暗闇の支配者との戦いにおいて何が信仰を実現するのかを示すために記録されました。信仰に応じた神の恵みは、これらの戦いにおいても、これらの戦いにおいても同様に強力である。なぜなら、使徒は次のように述べているからである。私たちの戦いは肉体的なものではなく、神を通して要塞を破壊する力があり、神の知識に反して高揚するあらゆる高みと計略を破壊し、捕虜をキリストの従順に導く力がある。」(2コリント10:3-5)。当時の勇敢な英雄たちが信仰によって打ち破ったのは、物理的な敵だけではありませんでした。私たちは彼らについて、彼らが「王国を獲得した」だけでなく、「義に働き、約束を得た」とも記しており、何よりも励みとなる素晴らしいことは、「弱さから力を引き出した」ということです(ヘブライ人への手紙11:33と34)。。神の力は弱さの中で完全にされるので、彼らの弱さそのものが信仰によって強さに変えられました。それでは、私たちが義とされるのは神であり、私たちは良い行いのためにキリスト・イエスにあって創造された神の作品であると考え、誰が神に選ばれた者たちを非難できるのでしょうか。「誰が私たちがキリストの愛から引き離すのでしょうか？

患難？それとも苦悩？それとも迫害？それとも飢え？それともヌード？それとも危険？それとも死？」

しかし、これらすべてのことにおいて、私たちが愛してくださった神を通して、私たちは征服者以上の存在なのです。」

(ロマ 8:35,37)時代のしるし、1889年3月25日。

2 - 信仰についての教訓

信仰がなければ神を喜ばせることは不可能です。その理由は、「信仰から出ていないものはすべて罪である」ということです。

(ロマ 14:23)ですから、罪は神を喜ばせることはできません。だからこそ、1898年10月18日の書評の最初のページで預言の霊が次のように述べているのです。私たちの手の届く範囲に。」そこで、私たちはレビューの各号で、この同じコラムで信仰に関する聖書の教訓を提供します。それは、この雑誌を読む人全員が「私たちの手の届く範囲の他のどの知識よりも重要な」この知識を獲得できるように、それをどのように実践するかということなのです。

レビューとヘラルド、1898/11/29

「まず神の国と神の義を求めなさい。」マタイ 6:33。もしあなたが神の義を持っているなら、あなたは神の命を持っています。"でも今。すべての者とすべての信じる者に」ローマ人への手紙 3: 21,22。貴方は神の義を明らかならざるであなたが「信じている」なら、それは今もそうなのです。今、この瞬間、神があなたにとって真実であるとあなたが認識するとき、その言葉は真実です。彼の中にも、今のあなたの中にも。これは神を信じ、神の言葉を信じ、神の言葉があなたの中に宿ることを意味します。たとえ地上で誰もそれを信じていなくても、神の言葉は真実です。しかし、もしあなたが神の言葉を信じるなら、神の言葉はあなたの中にあります。「あなたがわたしの内に留まり、わたしの言葉があなたの内に留まるなら、あなたは望むものは何でも尋ねるだろう、そしてそれはあなたのために成されるだろう。」ヨハネ 15:7 「あなたの持っている信仰は、神の御前で自分のものにしなさい。」ローマ 14: 22。もしあなたが今（昨日も明日も）自分自身を信じていないなら、あなたは現実を信じていないことになります。「今が最も好機、今が救いの日だ。」 II コリント 6:2。イエス・キリストへの信仰を通して、すべての、そして信じるすべての人のために。」ローマ人への手紙 3: 21,22。

。神の義が明らかになったのです。。

「罪人がキリストを信じた瞬間、彼は罪に定められることなく神の前に現れます。キリストの義はあなたのものであります。キリストの完全な従順が彼に課せられているのです。」あなたは今、具体的に何が欲しいのですか？あなたは神の義を望みますか、それとも自分の罪を守りたいですか？「キリスト・イエスにある救いを通して、神の恵みによって無償で義とされるのです。神は、その寛容さによって、以前に犯した罪を罰せられずに放置しておいたので、神は、信仰を通して、なだめの品として、その血において神の義を明らかにするよう提案したのである。」ローマ人への手紙 3: 24,25。「存在」は現在形です。今、信じる者は皆、罪を赦されています。今、あなたの罪の赦しのために正義が宣言されています。今だけ信じてください。

これだけで十分です。神は次のように宣言されています。「神の義が現われていることを考慮すると、神ご自身が義であり、イエスを信じる者を義とされるためである。」

ローマ 3:26。神の要求は神の備えによって満たされます。神の備えを受け入れられますか？「しかし、働かず不敬虔な者を義とされる方を信じる者にとって、その信仰は義と認められるのです。」ローマ人への手紙 4:5。

これは人生の言葉です。あなたが信仰によって生き、今、神の言葉に従って生き、神が与えてくださった約束を信じているなら、今の神の言葉はあなたの中で真実となるでしょう。「アブラハムは神を信じたので、神はそれを義と認めました。」

ローマ人への手紙 4:3 「そして、このように書かれているのは、彼のためにだけでなく、

それは私たちのためでもあります。なぜなら、それは私たち、つまり私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じた私たちにも帰せられるからです。私たちの罪のために引き渡され、私たちの義のために再びよみがえられたのです。

したがって、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和が得られます。」ローマ人への手紙 4:23-25 と 5:1。さて、今回はこれが真実です。それは神において真実です。今、このとき、これがあなたの中で真実であることを認めてください。

「義人は信仰によって生きよ！」ロム。 1:17。

私たちは今日、キリストの命を持つ必要があり、持つことができます。なぜなら、キリストが来られるとき、キリストは「新生」の経験で私たちの心を変えたのと同じ力で、私たちの卑劣な体を変えてくださるからです。今こそ心を変える必要があります。それは、キリストの命がそこに入り、そこに留まる以外に変えることはできません。しかし、キリストが心におられるとき、私たちはキリストの人生を生きることができ、そしてキリストが来られるとき、栄光が現されるでしょう。

神の正義は神の完全な法であり、神自身の正しい意志を転写したものにすぎません。すべての不法行為は罪、つまり法律違反です。福音は神の罪の救済策です。したがって、神の仕事は人々を律法と調和させること、つまり彼らの生活に律法の義が発揮されるようにすることでなければなりません。しかし、これは完全に信仰の業であり、神の義は「信仰から信仰へ」、最初の信仰と終わりの信仰で明らかにされます。「義人は信仰によって生きる」と書かれているように。

私たちは自分自身への信頼を完全に失い、救う力のある神に全信頼を置かなければなりません。敗北して何度も罪に陥る人は、信仰の戦いを善戦していないのです。あなたは自信と敗北という貧しい戦いを戦っているのです。

勝者へ！

究極の幸福の約束はすべて勝者に与えられます。「勝利する者に、わたしもまた勝利して父とともに王座に座ったのと同じように、わたしもわたしとともに王座に座ることを与えます」とイエスは宣言されました。黙示録 3:21 「世にあるすべてのもの、肉の欲望、目の欲望、そして人生の誇りは、父から出たものではなく、世から出たものだからです。」ヨハネ第一 2:16. 克服すべき勝利は、肉の情熱(ペテロ第二 2:18)、目の情熱(詩篇101:3)、そして人生の誇り(ヨハネ第一 2:16)に対する勝利です。、自己と利己的な耽溺に対する勝利。ここに強さの秘密があります。それは神の子キリストであり、天と地のすべての力が与えられた方であり、その働きを行うのです。彼は心の中に生きて仕事を遂行しなければなりません。「神から生まれた者は皆、世に打ち勝つからです。そしてこれが世界、私たちの信仰に打ち勝つ勝利です。」ヨハネ第一 5:4. 信仰は神の腕にしがみつき、神の比類のない力が働きを実行します。信仰のおかげでペテロは波の上を歩くことができました。恐怖が彼を沈ませた。イエスへのこの信仰は私たちを罪から救う力があり、「あらゆる考えをキリストの従順の虜にします」。 IIコリント 10:5. 神の僕たちは、弱さの中にありながらも、「信仰によって王国を征服し、義を実践し、約束を獲得し、獅子の口を止め、火の猛威を鎮め、剣の刃から逃れ、弱さから解放されました。」彼らは力を引き出し、戦争で強力になり、外国軍を敗走させた。」ヘブライ 11:33,34。

信仰を育みます！

信仰を培うことは、獲得できるどんな知識よりも重要です。

ローマ 10:17: 「信仰は聞くことによって生まれ、聞くことはキリストの言葉によって起こります。」 「あなたがたは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、生きて耐える神の言葉によって新しく生まれたからです。」ペテロ第一 1:23 「長い間、天と地がありました。それらは神の言葉によって水の中から、また水の中を通して生まれました。そして同じ言葉によって、それらは火のために蓄えられました。悪人に対する裁きと滅びの日のために取っておかれているのです。」ペテロ第二 3:5-7。

百人隊長はこう宣言しました。「一言で命令してください。そうすれば、私の息子は癒されます...イエスはこれを聞いて驚き、イエスに従った人々に言われました:真実に言いますが、私はこれほどの信仰を見つけたことがありませんイスラエルでは。」マタイ 8:6-10。

3 - 忠実な言葉

信仰は神の言葉がその言葉の内容を達成するのを待ち、その言葉がその言葉の内容を達成することを信頼します。信仰は、言葉自体が宣言したことを達成する力を持っていることを教えます。それは「忠実な言葉」(テトス 1:9)、つまり信仰に満ちた言葉に対する信仰です。神の言葉は、その中で宣言されたことだけを実現します。

「神はこう言われました。光あれ。光あれ。」そして光があった。」

創世記 1:3 「あなたの御言葉の啓示は明らかにします。」詩篇 119: 130. 「そして神は言われた、『広がりあれ...そして、そのとおりになった。』」創世記 1:6,7. 彼が話した、そしてそれが実現した。話された言葉はすべてのものを存在させました。まさにその言葉通りでした！

神の言葉には神の力が備わっており、それによって語られた内容が実行されます。

信仰とは、神の言葉にはこの力があることを知り、その言葉自体が宣言したことを実現するのを待ち、その同じ言葉に頼ってその言葉が宣言したことを達成することです。信仰を働かせることは、神の言葉が約束したことを実現するのを待つことです。信仰を培うことは、神ご自身の言葉がその中で語られていることを成就させる力に対する自信を高める実践です。「信仰とは、期待されている事柄の確実性であり、目に見えない事柄の確信です。」

ヘブライ 11: 1. 神が語られるとき、それは単に神が語られたからです。

信仰の救いは次のように説明されています。「あなたがたが私たちから聞いた神からの言葉を受け取ったとき、あなたはそれを人間の言葉としてではなく、まさに神の言葉として受け取りました。その結果、それは信じるあなたの中で効果的に働いています。」テサロニケ人への第一の手紙 2:13。

信仰は「神からの賜物」です(エペソ2:8)。それは「神が各人に分け与えた信仰の尺度に従って」すべての人に与えられます。ローマ人への手紙 12:3 「みことばはあなたの近くにあり、あなたの口と心の中にあります。それは、私たちが宣べ伝える信仰の言葉です。」ローマ人への手紙 10:8. 信仰の言葉はすべての人の口と心の中にあります。神はこう言って彼女を創造されました。「わたしはあなた[サタン]とその女との間に、またあなたの子孫とその子孫との間に敵意を置く」。(創世記 3:15)。罪が入り込んだ後は、サタンとの「敵意」はなくなりました。人間と罪は完全に一致していた。しかし、神が信仰を創造したとき、人間との間に「敵意」が生まれました。

サタン。すべての魂は今、サタンと罪からの解放を待っています。そしてこの解放はイエス・キリストの中のみ見出されます。ローマ人への手紙 7:14-25。

信仰とは、神の言葉だけに依存し、その言葉がそのとおりになるのを待つことです。

したがって、信仰による義認は、神の言葉だけに頼ることによる義認です。
神様、この言葉がそれを成就することを願っています。

信仰による義認とは、義と宣言される行為です。信仰は神の言葉に由来します。

神の言葉によって守られます！

クリスチャンの生活では、すべてが神の言葉に依存します。神の言葉は私たちが罪を犯すのを防ぎます。「人々の行為に関しては、あなたの唇の言葉によって、私は暴力的な者の道から身を守ってきました。」詩篇 17:4 「私はあなたに対して罪を犯さないように、あなたの言葉を心に留めています。」詩篇 119:11. これは、罪に勝利するために神が定めた「道」です。物事を行う神聖な方法は神の言葉を通してであり、それを通して世界が創造されました。神の言葉によって人間は再創造され、新たな誕生を受けました。神の言葉によって世界は守られます。「今ある天と地は、同じ言葉によって大切に保管されています。」ペテロ第二 3:7。

同様に、クリスチャンは神の言葉によって創造されただけでなく、その同じ言葉によって支えられ、養われ、成長するのです。神は力強い言葉によって「すべてのもの」を支えます。そしてクリスチャンは、すべての世界と同じくらいの割合で、これらの「すべてのもの」の中に含まれています。クリスチャンは主の言葉によって正しい道を歩むことができます。「神はあなたがまずくことを防ぐことができになる」（ユダ 1:24）と書かれています。そして「わたしはわたしの義の右の手であなたを支える」（イザヤ書41:10）。「主は彼を支えることができになります。」ローマ 14: 4. 全宇宙を支える神の言葉を信頼してください。神は私たちをも支え、罪から解放してくださることもできるのです。「神の言葉は生きており、効果があるからです。」ヘブライ 4:12。「あなたがたの魂を救うことができる、あなたの中に植え付けられた言葉を、優しく受け入れてください。」ヤコブ 1:21。「キリストの言葉をあなたの内に豊かに宿らせてください。」コロサイ 3:16。「あなたがたは信仰によって神の力によって保たれています。」ペテロ第一 1:5。この言葉を信頼し、頼りなさい。そうすれば、その言葉が持続する力を発見するでしょう。

神の言葉次第です！

したがって、信仰による義認は神の言葉によってもたらされる義認です。

「義とされた[義とされた]ので、[神の言葉を待ち望み、ただ頼ることによって]信仰を通して、私たちの主イエス・キリストを通して、神との平和が得られます。」ローマ人への手紙 5:1. アブラムは「神を信じ、それが神にとって義とみなされた」

創世記 15:5,6. アブラムは神の言葉を受け入れ、その言葉が何を言っているかを知るのを待ちました。サラは神の言葉を実現するための人間的な方法を想像して、約束の履行を遅らせました。しかし、神は結果を信仰のみに限定しました。つまり、結果が言葉だけによって成就されること、また、その言葉が語ったことが成就するためにその言葉だけに絶対的に依存することによって成就されることに限定されました。そして、「このために、すでに死んだ一人から、空の星のように多く、海岸の砂のように数え切れないほどの子孫が生まれたのです。」ヘブライ人への手紙 11:12。「信仰を持つ者はアブラムを信じるという祝福に恵まれています。」ガラテヤ 3:9。

アブラハムは後に神の言葉を信頼するよう求められましたが、息子イサクを全焼のいけにえとして捧げるよう求められたとき、アブラハムは明らかにその言葉に反したようです。「あなたの胤によって、地上のすべての国々は祝福されるでしょう。」「あなたの子孫はイサクと呼ばれるでしょう。」創世記 22:18。 21:12. そしてアブラハムは希望に反して息子を差し出した。彼は神が「それらの箇所を調和させる」とは主張しませんでした。彼に必要だったのは、それらの発言がすべて神の言葉であるという確信だけだった。それを知っていたので、彼はその言葉を信頼して従い、必要であれば主が「文章を調和させ」たり、「本文を説明」したりすることを許可しました。アブラハムは神がイサクを死から蘇らせてくださると信じていました。アブラハムは「遠くからその場所を見たとき...彼は家来たちにこう言いました。『ロバと一緒にここで待っていてください。少年と私はそこに行き、礼拝を終えてあなたのごところに戻ります。』創世記 22: 4,5. アブラハムは、イサクと一緒に行ったのと同じくらい確実にイサクが戻ってくることを期待していました。彼はイサクが灰の中から目覚めて一緒に戻ってくることを期待していました。なぜなら神の言葉は「イサクのうちにあなたの子孫を呼ぶ」、そして「あなたの子孫は天の星のようになる」だったからです。そしてアブラハムはこの言葉だけを信じ、それは決して失敗しないと信じていました。ヘブライ人への手紙 11:17-19.これが信仰です。このようにして、「『今、アブラハムは神を信じた、そしてそれは神にとって義であるとみなされた』という聖書の言葉が成就した」のである。ヤコブ 2:23. 「わたしたちは死人の中からよみがえられた方を信じます。わたしたちの罪のために引き渡され、わたしたちの義のためによみがえられた主イエスも信じます。」ヘブライ人への手紙 4:24、25.神の言葉だけを信じ、神の言葉だけに頼りなさい。たとえそれが神の言葉に反しているとしても、神の言葉に依存する、それが信仰です。これが神の義認を実現する信仰です。これが信仰を働かせるということです。信仰を行使する方法を理解することは、福音の科学です。

4 - あなたは邪悪な者ですか？

「働かずに不敬虔な者を義とされる方を信じる者にとって、その信仰は義と認められる。」ローマ人への手紙 4:5。

それが、誰もが義人になる唯一の方法です。まず、自分たちが邪悪であることを認めます。次に、神は邪悪な者を義とされる、あるいは義とみなされると信じ、そして神ご自身の義を手に入れるのです。世界中の誰もが邪悪です。「不敬虔」とは「神とは異なる」という意味です。「すべての人は罪を犯しており、神の栄光[善良さ、品性の]を受けられないからである」と書かれています。「彼らはみな道を踏み外し、一人一人役に立たなくなった。善を行う者は一人もいない、一人もいない。」ローマ人への手紙 3:10 と 11.神は不敬虔な者を正当化するので、神からの義認、つまり正義、救いが、地上のすべての魂に完全で無料で保証されます。そして、それが自分自身に保証されるために必要なのは、誰でもそれを受け入れることだけです。神が個人的に、そして個人的に、本当に正当化してくださると信じること。

邪悪な者。正当化のための唯一の要件、唯一の準備は、人が自分が悪人であると認識することです。「私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてください。」ヨハネ第一 1:9。

多くの人は自分たちが邪悪であると信じており、それを認識していますが、神が自分たちを正当化すると信じるのは行き過ぎのように思えます。彼らが信じない理由は、単に彼らがあまりにも神を信じないからです。そこで彼らは、神が自分を正当化してくれるのを待つ勇気を得るために、自分自身を正そうとします。この誤った概念は作品によって正当化されます。「信仰による義認」を信じていると公言することで、彼らは実際には自分たちの行いに部分的に依存していることとなります。私が悪者でなければ、義人にされる必要はありません。「これは、キリスト・イエスが罪人を救うためにこの世に来られたという、すべての受け入れに値する忠実な言葉であり、私が罪人の先頭である。」テモテ第一 1:15 「わたしが来たのは、義人を招くためではなく、罪人を悔い改めに招くためです。」ルカ 5: 32. 信仰は神の言葉だけに依存します。自分自身に何らかの自信がある限り、個人の充実の何らかの側面に希望の考えられる根拠がある限り、信仰は「みことばへの完全な信頼」であるため、信仰も信仰の場所も存在しないでしょう。神だけのものだ。」（自己の中に）すべての希望がなくなったとき、信仰が働き始めます。そして、信仰によって、たとえば私たちがどんなに極悪人であっても、私たちは完全に自由な義認を見出すのです。

神の手に渡ります！

「ですから、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストによって神との間に平和が得られます。」ローマ人への手紙 5:1. 信仰は神の言葉だけに依存しているので、その言葉にあるように、信仰によって義とされるということは、単に神だけに頼ることによって義人としてみなされるということです。それは彼がそう約束したからに過ぎません。

私たちは完全に罪人であり、罪深く不敬虔であり、神の裁きの対象となっています。

ローマ人への手紙 3:9-19. 神の裁きから逃れる唯一の方法は神を信頼することです。

ダビデはこう宣言しました。「さあ、主の御手に委ねましょう。主の憐れみは多いからです。」 IIサムエル 24:11-14。

「神は……十字架の血によって平和を実現し、自らの死を通じて肉の体においてあなたたちを和解させたことを喜ばれました……かつては邪悪な行いによって心の中では見知らぬ者であり敵であったあなたたちも」しかし今、神は、信仰を持ち続けるなら、神の御前に聖く、非難のない、罪のないあなた方を差し出すために、ご自分の死を通して肉の体においてあなたたちを和解させてくださったのです」 コロサイ1:20-23。

神の恵みは無償で提供されます。なぜ地球上のすべての魂がこのように義とされるべきではないのでしょうか？あなたは信仰を実践していますか？あなたは信仰によって義とされていますか？あなたは信仰の義を持っていますか？私たちの主イエス・キリストを通して、あなたには神との平和がありますか？

「神を信じなさい。」マルコ 11:22。

神の言葉が存在しないところには信仰はあり得ません。私たちは神の言葉に従って祈らなければなりません。このようにして神は、御言葉に従った祈りを通して、信仰がしっかりと一貫して継続的に成長するための備えを整えてくださいました。神の言葉に依存しなければ、すべてはただ滅びます。「義人は信仰によって生きる」(ヘブライ人への手紙 10:38)、つまり「信仰から出ないものはすべて罪である」(ローマ人への手紙 14:23)、これは義人は神の言葉に従って生きなければならないことを暗示しています。そして神の言葉から出ていないものはすべて罪です。「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きるものである。」マタイ 4:4。

神の言葉によって義が与えられ、人々がその言葉に完全に頼ることができ、義が彼らのうちに満たされるのでしょうか。

「神は…神の正義を明らかにすることを提案しました。なぜなら、神は寛容で、以前に犯した罪を罰されずに放置したからです。」ローマ人への手紙 3:25。したがって、主は罪を赦され、罪に対するご自身の義を贈り物として、「命を与える義としてすべての人に」与えられます。ローマ人への手紙 5:18。彼は忠実です。神は私たちの罪に対して義を与えてくださいます。

「霊のうちに歩むと、決して肉の欲望を満たすことはできません。」ガラテヤ 5:16。信仰を通して、これらの肉の情熱は彼が注意を払わず、完全な勝利を勝ち取るでしょう。、羨望、酩酊、暴食、これらに類するもの。。」それは神の忠実な言葉です。あなたがあなたの罪を神に与えるなら、神はあなたに義を与えてくださいます。

聞く！

キリストがあなたのために働いてくださった解放を受け入れてください。キリストがあなたを自由にしてください。あなたが自由の中にしっかりと立ちなさい。「求めなさい、そうすれば与えられます…求める者はみな得られるのです。」ルカ 11:9 と 10。「聖霊を受けなさい」ヨハネ 20:22。「聖霊に満たされなさい」。エペソ人への手紙 5:18。「御霊のうちに歩みなさい…あなたは御霊によって救いの日のために証印を押されました。」エペソ人への手紙 4:30。「…神がご自分に従う者たちに与えられた聖霊。」使徒 5:32。

「それは信仰から来るものであり、それは恵みによるものであり、その約束がすべての子孫に堅固なものとなるためである。」アブラハムは、「死者に命を与え、存在しないものを呼び起こしてくださる」方を信じました。ローマ人への手紙 4:16-17。これは神の創造力を明らかにします。神は存在しないものをあたかも存在するかのように呼ぶことができます。人間がそんなことを言ったら嘘になりますが、神様には嘘はつきません。「神が嘘をつくなんてありえない！」ヘブライ人への手紙 6:10。神が語る時、それまで存在しなかったものが神の世界に存在するようになる。

5 - 永遠の福音

神がアブラハムに、彼の子孫によって地上のすべての国々が祝福されるだろうと告げたとき、彼は彼に福音を宣べ伝えていました(ガラテヤ3:8)。したがって、神の約束に対するアブラハムの信仰は、直接、罪人の救い主としてのキリストに対する信仰でした。これが彼の義とされる信仰でした。この約束を人間が成就する可能性はありません。すべてが彼女に不利でしたが、彼女の信仰は不変の神の言葉と、創造し生かす力を捉え、それを拠り所としていました。「そして、これは彼のためだけでなく、私たちのためにも考慮されたと書かれています。なぜなら、それは私たち、つまり私たちの主イエスを死人の中からよみがえらせた方を信じる私たちにも課せられるからです。わたしたちの罪のために引き渡され、わたしたちの義のためによみがえられたのです。」ローマ人への手紙 4:23-25。したがって、アブラハムの信仰は私たちの信仰と同じであり、同じ対象でした。アブラハムに対する神の約束はすべて、私たちだけでなく彼にも当てはまりました。「神がアブラハムに約束をしたとき、それ以来、

彼には誓ってくれる上司が誰もおらず、自分一人で誓ったのです。」 「したがって、神は、約束の相続人たちに、ご自身の目的の不変性をもっとしっかりと示したいと思ったとき、神が嘘をつくことのできない二つの不変の事柄を通して、私たちに強い励ましを与えられるよう、誓いを立てました。彼らは、提案された希望を活かすために、すでに避難所に走っています。」ヘブライ 6:17、18。したがって、私たちの希望は神の約束とアブラハムへの誓いにかかっています。その誓いによって確認されたアブラハムへの約束には、神が人に与えることのできるすべての祝福が含まれているからです。

震える魂よ、自分の罪は多すぎるし、自分は弱すぎて希望が持てないとは言わないでください。キリストは失われた人々を救うために来られました。「このため、彼は自分を通して神のもとに来る人々を完全に救うことができ、常に生きて彼らのために執り成しをすることができます。」

ヘブライ 7:25. あなたは弱いかもしれませんが、彼はこう宣言しています、「私の強さは弱さの中でこそ完全になります」。 IIコリント 12:9. また、靈感による記録には、「自分の弱さから力を与えた」人々について記されています（ヘブライ 11:34. これは、神が私たち自身の弱さを取り、それを強さに変えられたことを意味します。そうすることで神はご自身の力を実証されます。それが神のやり方です。「神は、賢い者に恥をかかせるために世の愚かなものを選び、強い者に恥をかかせるために世の弱いものを選んだ。そして神は謙虚なものを選びました

世界、そして軽蔑されている人々とそうでない人々、そして軽蔑されている人々を無に帰すこと。それは、誰も神の御前で誇ることができないためです。」コリント人への第一の手紙 1:27-29。

アブラハムはどのようにして義と認められるようになったのでしょうか。 - 自分自身の有機体の屈辱と無力さを考慮せず、神にすべての栄光を喜んで与えることによって、神は存在しないものを、あたかも存在するかのように創造することができるという信仰の強さ。したがって、あなたも同様に、自分自身の体の弱さを考えるのではなく、私たちの主の力と恵みを考慮しなければなりません。宇宙を創造し、死者を蘇らせることができる同じ言葉が、あなたの中にも創造することができるかと確信しているからです。純粋な心を神に向けて高めてください。こうしてあなたはアブラハムの子となり、またキリスト・イエスへの信仰を通して神の子となるのです。

神の創造的な言葉！

神は昨日も今日も永遠に同じです。イエスは、「わたしがあなたに語る言葉は霊であり、命である」と言われました。イエスが語った言葉には神からの永遠の命が吹き込まれており、永遠に永久であり、その中には語られたものを生み出す創造的なエネルギーがあります。「なぜなら、私は自分で話したことはありませんが、私を遣わした父が、何を言い、何を発表すべきかを私に定めたからです。そして私は神の戒めが永遠の命であることを知っています。したがって、私が話すことは、父が言われたように、私が話すのです。」ヨハネ 12:49、50。「お父さんを見せてください」ってどう言いますか？あなたは私が父の中において、父が私の中にと信じないのですか？わたしがあなたたちに話す言葉は、わたし自身について語るものではありません。しかし、わたしのうちにおられる父が御業を成してくださるのです。」ヨハネ 14: 9,10。

創造 VS 進化!

創造は即座に行われますが、そうでなければ創造ではありません。それが即時ではないとしても、それは進化です。進化は創造と真っ向から対立します。百人隊長は、「その言葉を言ってください。そうすれば私の息子は治ります。」と言いました。マタイ 8:8 イエスはこう答えられました。

あなたの信仰を。」マタイ 8:13. 言葉が語られると、その言葉は即座に語られたことを実現しました。

ハンセン病患者は、「もし望むなら、私を清めてもいいでしょう」と言いました。イエスはこう言われました。すぐに「彼は清くなったのです（マルコ 1:41,42 参照）。

今日、イエスはあなたにこう言われます。「あなたの罪は赦されました。」あなたは進化論者ですか、それとも創造論者ですか?現時点であなたの罪は赦されていますか、それとも、神があなたの中で言われたことを達成できるかどうかを確認するために、神が宣言したことに自分の行いを加えてから、「信じている」と言いたいと思っていますか?これがあなたの計画であるなら、あなたは進化論者です。それがあなたの計画であるなら、あなたは言葉を受け取り、言葉に応答し、言葉について考えるという信仰の性質を持っていないことになります。義、聖さ、真実、忠実さに基づいて新しい創造があなたの中に起こります、すべての良いこと、そして慈しみ深いこと、「純粋な心」。

準備ができています!

聖書は、あなたと私が人々を「小羊の婚宴」に招くと宣言しています（黙示録 19:9）。私たちは皆にこう言わなければなりません。「来てください、すべての準備ができていますから」。ルカ 14:17. 私自身の準備ができていないのに、どうやって人に電話して、すべての準備ができていますと伝えることができますか?そもそも嘘ですよ。私の言葉はあなたには届きません。単なる空虚な音にすぎません。しかし、ああ、その呼びかけの中に、私たちを準備させ、私たちを罪から清め、私たちの中に良い知らせを生み出し、太陽がコースセットに保持されているように私たちを支えてくれた言葉の創造的なエネルギーがあるとき。神によって——そのとき、私たちが外に出て、不敬虔の中に横たわる世界に向かって「来なさい、すべての準備ができていますから」と言うとき、彼らは耳を傾けるでしょう。彼らはその呼びかけの中で善き羊飼いの声の音色を聞き、創造的なエネルギーを求めて主のもとに来て、自分たちを新しい生き物とし、召された結婚に備えるよう励まされるでしょう。

ここが私たちが地球の歴史の中にいることになります。神の刻印が神の民の上に置かれました。しかし覚えておいてください、神はあらゆる汚れから清められていない者には決して御自分の印を押されません。神は、真実ではないこと、良くないことには印を押しません。彼は不正をあたかも正義であるかのように封印しません。神があなたの心に神の性格を書き記すようにしてください。そうすれば、神はそこに承認の印を書くことができます。それは神の創造的な言葉があなたの心の中で神の目的を達成したときだけです。このような人々がいれば、神は短期間で世界を動かすことができます。進化とは不誠実である。創造はキリスト教です。144,000人は信仰によって創造論者となり、神の性質と姿に生まれ変わります。

「しかし、信仰の義はこう言います。心の中で『誰が天に昇るだろうか』と尋ねてはなりません。」（つまり、上からキリストをもたらすため）。または「誰が深淵に落ちるのか（つまり、キリストを死者の中から復活させるため）。しかし、何とされているのでしょうか?御言葉はあなたの近くにあり、あなたの口の中に、あなたの心の中にあります。それは私たちが宣べ伝える信仰の言葉です。イエスが主であると口で告白し、神がイエスを死者の中からよみがえらせたとき心の中で信じるなら、あなたは救われるでしょう。」ローマ人への手紙 10:6-9。

信じる!

地震の後、フィリピでパウロとシラスの看守がこう言いました。「先生、救われるためには何をしなければなりませんか?」使徒 16:30 と 31. ユダヤ人たちはイエスにこう尋ねました。

神の業を達成するために私たちは何をしましょうか？」彼の答えはこうでした。「これは神の御業です。あなたが神から遣わされた方を信じることです。」ヨハネ 6:28 と 29。努力は必要です。しかし、信仰が行いを生み出すので、信仰はすべてで十分です。信仰はすべてを理解します、そして信仰がなければ行いはありません。

6 - 信仰と法

しかし、信仰は単なる同意ではありません。信仰は受け身ではありません。信仰は活発です。それが唯一の本当の基盤です。律法は神の義であり（イザヤ書 51:6,7）、私たちはそれを求めるよう命じられています（マタイ 6:33）。しかし、それは信仰以外に維持することはできません。なぜなら、裁きの中で残る唯一の義は、「キリストへの信仰による義、つまり信仰に基づいて神から来る義」だからです。ピリピ 3:9 「それでは、私たちは信仰によって律法を無効にするのでしょうか。いいえ、そんなことはありません。私たちは最初に法律を確認しました。」ローマ 3: 31。神の律法を人間にとって無効にすることは、それを廃止することではありません。なぜなら、これは不可能だからです。それは神の玉座と同じように確立されています。人々が法律について何を言おうと、どれほど法律を踏みじり軽蔑しようと、それは変わりません。人間が神の律法を無効にする唯一の方法は、不従順によって心の中で律法を無効にすることです。したがって、使徒が信仰によって律法を廃止しないと宣言するとき、彼は信仰と不従順は両立しないことを意味しています。法違反者がどれほど信仰を持っていると公言しても、彼が法違反者であるという事実は、その人に信仰がないことを示しています。しかし、信仰を持っていることは、この人が神に対して罪を犯さないように、心の中に律法を確立することによって明らかになります。「私たちが神の戒めを守ること、これが神の愛だからです。」

ヨハネ第一 5:3。

「そして、主にこの希望を持つ人は皆、主が純粹であるのと同じように、[自分の内に残るキリストの忠実さによる恵みによって]自分自身を清めます。罪を実践する者は、律法にも違反します。罪は律法に違反するからです。また、彼[イエス]が罪を取り除くために現れた、そして彼には罪がないこともあなたは知っています。神のうちに留まる人は皆、罪の中で生きていません。罪を犯した人は皆、イエスを見たことも、知ったこともありません。」ヨハネの第一の手紙 3: 3-6。キリストにとどまる者は、キリストの義にとどまり、罪を犯しません。むしろ、恵みが彼らの人生に満ち溢れており、彼らは「世に打ち勝ち」ます。イエスが神の子[彼の名は神の言葉と呼ばれる、黙示録19:13]であると信じる者以外に、世に勝つ者は誰でしょうか？」

ヨハネ5 :4と5。「したがって、キリストにとどまることは、「神の言葉」にとどまることです。

神の言葉を信じる信仰だけが、世に打ち勝つ勝利です。

ヤコブは「行いのない信仰は死んだ」と宣言しています。ヤコブ 2:20 および 26。行いのない信仰が死んだものであるなら、行いの不在は信仰の不在を意味します。死んだものには存在がないからです。人が信仰を持っていれば、必ず行いが現れ、その人は何も誇ることはありません。なぜなら、信仰によって誇ることは排除されるからです。ローマ人への手紙 3:27。

信仰と法

「律法の終わりはキリストであり、信じる者すべてに義を与えてくださるからです。」ローマ人への手紙 10:

4. この節は、次の理由により、法律が無効になることを意味する可能性はありません。

(1) イエスはこう宣言されました。「わたしが律法や預言者を廃止するために来たと考えてはなりません。わたしは来たではありません。取り消すために、私は果たすために来たのです。」マタイ 5:17。

(2) 預言されたイエスの働きは「律法を拡大し、栄光あるものとする」ことでした。イザヤ書 42:21。

(3) イエスの性格は律法と同義でした。「私はあなたのご意志を喜んで行います、おお我が神よ;そう、あなたの律法は私の心の中にあります。」詩篇 40:7 と 8。

(4) 律法は神の義であり、神の政府の基礎であるため、完璧ではあるが、いかなる状況においても廃止することはできない。ルカ 16:17 を参照してください。

ローマ人への手紙 10 章 4 節の「終わり」という言葉は「終了」という意味ではなく、ここでは計画、目標、または目的を意味するために使用されています。この聖句は、「律法の『目的』は、信じるすべての人に義を与えてくださるキリストだからです」と適切に翻訳できます。テモテ第一 1 章 5 節には、「この戒めの目的は、偽善のない純粋な心と良心と信仰から出る愛である」とあります。なぜなら、「愛は律法を全うすることである」(ローマ 13:10)ので、戒めを守る目的(最終結果)は愛であるからです。「もしあなたがわたしを愛しているなら、わたしの戒めを守るでしょう。」

ヨハネ 14:15 「このことによって、私たちは神を愛し、神の戒めを守るとき、神の子たちを愛していることがわかります。なぜなら、私たちが神の戒めを守ること、それが神の愛だからです。さて、神の戒めは悲しいものではありません。なぜなら、神から生まれたものはすべて世に打ち勝つからです。そしてこれが世界、私たちの信仰に打ち勝つ勝利です。」ヨハネの第一の手紙 5: 2-4.

したがって、私たちの信仰によるキリストにおける勝利は、神の戒めへの従順の最終結果、つまり聖化、つまり「主への聖さ」を私たちの中に生み出します。

「その日は録音されます。 。 。主に聖なるように…」ゼカリヤ書 14:20。

「キリスト・イエスの中にあつたのと同じ感情を自分の中に持ちなさい。」

ピリピ 2:5. 「主に聖なる」とは、あなたが神に属するべき人であることを意味します。あなたの心は神のものになります。言い換えれば、内にある義は神の意図したことを達成し、悪人を義とし、肉の情熱の中を歩むのではなく、信仰によって生きる神の民の心の中の罪を永遠に滅ぼすのです。キリストは「ご自分の民を罪から救う」(マタイ 1:21)ことができないうけではありません。むしろ、神は「インマヌエル」(「神が私たちと共におられる」)です[マタイ 1:23]。

パウロはモーセが律法について語った「律法の義を実践する人は律法に従って生きる」という言葉を引用しています。ローマ 10:5 イエスは、「命に入りたいなら、戒めを守りなさい。」と宣言されました。マタイ 19:17. 「そして、命に至るまで私に与えられた戒めが、死に至るまで私に与えられたことが分かりました。」なぜ? 「すべての人は罪を犯し、神の栄光を受けられなくなった」そして「罪の代償は死である」。したがって、完璧な人格を創造し、その結果として命を与えるという法律の目的を達成することは不可能です。人は一度法律を破ると、その後の従順は決してその人の人格を完璧にすることはできません。しかし、キリストは人間が義と命の両方を確保できるようにして下さいます。私たちは「キリスト・イエスにある救いを通して、神の恵みによって無償で義と認められる」のです。ローマ人への手紙 3:24 「ですから、私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して神との間に平和があります。」

ローマ人への手紙 5:1. イエスは私たちが律法を守れるようにして下さいました。それは、私たちが彼によって神の義とされるためです。」第二コリント 5:21。

したがって、キリストにあつては、私たちが完全にすること(神の義)が可能であり、これはまさに、人間が常にそうしていたら、人類がどうなっていたらうかということです。

常に法律を揺るぎなく遵守すること。「したがって、今や、キリスト・イエスにある者たちには罪に定められることはありません。...律法が肉を通して弱かったためにできなかったことを、神は罪深い肉に似た姿でご自身の御子を送り、罪を犯すこと。そして事実上、神は肉における罪を非難されました。それは、律法の戒めが、肉に従ってではなく御霊に従って歩む私たちのうちに成就されるためです。」ローマ人への手紙 8:1-4。律法は「肉体を蝕む」ものでした。律法自体は弱かったのではなく、肉が弱かったのです。完璧に優れたノコギリを使っても、腐った木を強い柱に変えることはできません。法律は、あなたの過去の罪深い法律不服従の歴史を変えることはできませんし、過去の罪の記録を消すこともできません。

法律はその欠陥を指摘することしかできません。問題は、あなたが罪によって腐敗した腐った木であることです。キリストの言葉を通して、キリストは完全な種であるイエス・キリストに似せて、あなたの中にまったく新しい木を育てます。したがって、「律法の義」とは、あなたの人生における律法の実現です。したがって、キリストの義は、信者の心に書かれた律法の最終的な結果です。イエスは「消えることのない命の力に従って」大祭司に任命される権利を持っていました。ヘブライ人への手紙 7:16 したがって、私たちの偉大な大祭司は、私たちにこの命を与えてくださいます。そして、これは永遠の命です。それは、彼らが唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知るためです。」ヨハネ 17:2 と 3。

キリストは、キリストに信仰を抱くすべての人の心の中に住んでおられます。「私はキリストとともに十字架につけられました。したがって、生きているのはもはや私ではなく、私の中に生きているのはキリストです。そして私が今肉体的に持っているこの命は、私を愛し、私のためにご自身を差し出さされた神の御子への信仰によって生きています。」ガラテヤ人への手紙 2: 20。エペソ人への手紙 3: 16 と 17 も参照してください。信者の心の中のキリストは、信者を自分自身の光ではなく、内なる光の生きた言葉であるキリストの光として構成します。この生きた言葉の光はクリスチャンの動機と行動の源であり、神から無尽蔵に流れ出ます。「あなたの中に命の泉があるからです。あなたの光の中で私たちは光を見ます。」詩篇 36:9 「それから彼は、神と小羊の御座から流れ出る、水晶のように輝く命の水の川を私に見せてくださいました。」黙示録 22:1 「御霊と花嫁は言う、『来なさい。聞く者はこう言わせなさい、「来なさい」。』。渴いている人は来なさい、そうすれば望む人は誰でも無料で命の水を受け取ることができます。」黙示録 22:17。

キリストの肉と血

私たちはキリストの命を飲み食いし、キリストの言葉を味わいます。

「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたの中に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には永遠の命があり、わたしはその人を終わりの日によみがえらせます。」ヨハネ 6:53 と 54。「霊は命を与えるものです。肉体は何も利益をもたらさない。私があなたに話した言葉は霊であり、命です。」ヨハネ 6:63。

キリストは彼の靈感による言葉の中に宿っており、それを通して私たちはキリストの命を獲得し、それを受け取るすべての人に無償で与えられます。「喉が渇いている人は、わたしのところに来て水を飲みなさい。」ヨハネ 7:37。絶えず信仰を働かせれば、闇がこの光に打ち勝つことはできません。「もし私が暗闇の中で生きていても、主は私の光となってくれるでしょう。」ミカ 7:8。

人間が救われるのは行いではなく信仰です。「恵みによって、あなたは信仰を通して[罪から]救われたのです。そしてそれはあなたから来るものではなく、神からの贈り物です。行いではないので、誰も誇ることはできません。」エペソ人への手紙 2:8 と 9。完全に排除されていました。なぜ法律なのか？作品の？いいえ、それどころか、信仰の法則によります。したがって、次のように結論付けます。

人間は律法の行いとは別に、信仰によって義とされるのです。」ローマ人への手紙 3: 27 と 28。福音は行いを排除しません。良い行いは福音の大きな目的です。「なぜなら、私たちは神の作品であり、善行のためにキリスト・イエスにおいて創造されたものであり、私たちがその善行の中を歩むように神があらかじめ備えてくださったものだからです。」エペソ人への手紙 2:10。神の業と私たちの業との違いです。神の働きは完全であるため、私たちが完全であるためには神の働きが必要です。しかし、神は無限であり、私たちは有限です。5歳の小さな男の子は父親の仕事をすることができません。神だけが良いのです。したがって、私たちが救われるためには神の慈しみを受けることが必要です。あなたの優しさは神からの贈り物です。

神の業

「神の業を達成するには何をすべきでしょうか?」と尋ねられました。イエスの答えはこうです。「これは神の働きです。あなたが神から遣わされた神を信じることです。」ヨハネ 6:28 と 29。信仰は行動します。ガラテヤ人への手紙 5:6、テサロニケ人への第一の手紙 1:3。それは、キリストを心にもたらし（エペソ人への手紙 3:17）、その中には神の満ち満ちたすべてがあるので、神の御業を信者にもたらしめます。コロサイ 2:9。イエス・キリストは「昨日も今日も永遠に同じです」。ヘブライ 13: 8。神はキリストのうちにおられ、世界をご自身と和解させました。

同様に、キリストが信仰を通して私たちの心の中に住まわれると、神の働きが人生に現れます。「神は、あなたがた二人のうちに働いて、ご自身の喜びに従って意志し、行うようにしてくださるからです。」ピリピ 2:13。神がどのようにしてこれを達成するかは、私たちには隠されています。私たちは信仰によって、「世界の創設の時から宣告された賜物」を受け入れます。というのは、ある場所で、彼は七日目について次のように言ったからです。そしてまた同じ場所で、彼らはわたしの安息には入らないだろう。」ヘブライ人への手紙 4:4 と 5-

つまり、不信者は神の安息に入ることはありません。しかし、「私たち信じる者は安息に入る」のです。ヘブライ人への手紙 4:3-5。したがって、週の7日目である土曜日は神の休みです。

神は、人間が自分が神であること、そして神が安息日を聖化したものであることを知るためのしるしとして安息日を与えました。エゼキエル 20:12 および 20。安息日の遵守は行いによる義認とは何の関係もありません。むしろ、信仰による義認のしるしであり印章です。それは人間が自らの罪深い行いを放棄し、神の完全な働きを受け入れるしるしです。安息日は仕事ではなく休みであるため、それは私たちの主イエス・キリストへの信仰を通して神にある安息のしるしです。週の7日目以外に、神における完全な休息のしるしとなる日は存在しません。なぜなら、その日は神だけが神のすべての働きを休んだからです。進化論者や不信者は、7日目の神聖な休息に入ることはできません。神は日曜日を含む残りの6日間働きました。「6日間働いて、すべての仕事をしてください。」出エジプト記 20:9。

神の聖化

神の聖化を拒否し、別の日に自分の行いを正義として確立する人は誰でも、それは真の正当化ではまったくなく、神を超えて自分自身を高めることです。神の忠実さの拒否。信仰が強制できないのと同じように、神の安息日の休みに入るのも強制できません。それは完全な信仰のしるしであり、キリストの創造と再創造における完全な自由のしるしです。しかし

信仰がなければ安息日を守ることさえ可能ですが、それはユダヤ人が安息日に神の善意を認識できず（イエスは安息日に善を行うことが合法であると宣言しました）、安息日に入ることには失敗した場合には限られます。神の慈しみと神の安息。神の言葉のみに対する信仰でないものは何であれ、罪です。

ユダヤ人は、自分たちの行い、自分たちの安息日の規則（自分たちの言葉）に基づいて、神の言葉に付け加えたり、そこから引いたりしました（今日の日曜日の観察者が行うのと同じように、聖書にないものを聖書に追加して、神の言葉を作りました）聖書は有効です）、ローマ教会の伝統、人々に対する行いによる救い）、そして神の安息に入ることには失敗しました。信仰によってキリストだけがこの安息に入り、父に完全に従順になりました。聖性への道は、父の御心に完全に忠実であることを決して揺るがなかった神の血によって聖別されます。

安息日を守るとは喜びとなり、最初に行使された神の創造の力の言葉の記念となり、また、天の父の義になかった神の創造の記念となります。もしあなたが進化論者なら、あなたの安息日の遵守は詐欺になるでしょう。「義人は信仰によって生きる。」ローマ人への手紙 1:17。ガラテヤ 3:11。ヘブライ人への手紙 10:38。私たちは日々、神の言葉が私たちの中に新たに創造されたこと、つまり救いをもたらす神の力を認識しなければなりません。「恵みによって、あなたは信仰によって救われたのです。そしてそれはあなたから来るものではなく、神からの贈り物です。誰も誇るべきがないように、行いについてはありません。なぜなら、私たちは神の作品であり、良い行いのためにキリスト・イエスにおいて創造され、私たちがその良い行いの中を歩むように神が前もって備えてくださったものだからです。」エペソ人への手紙 2:8-11。

自分自身に良い仕事を達成することを期待すべきではありません。失敗すると分かっているのに、なぜ挑戦するのでしょうか？それが創造主ご自身によって創造されない限り、そしてもしあなたが神の創造的な言葉を受け取るのであれば、今から世の終わりまで、どんな種類の良いものもあなたの中に決して存在しません。”。コロサイ 3:16。そうすれば、信仰を通して恵みによって生きているクリスチャンであるあなたの中に、これらの良い行いが現れるでしょう。イエスがあなたの内に創造した業だけを行いなさい。そうすれば、あなたは「肉の傾向」を満たすことはなく、善い業のためにキリスト・イエスにおいて創造された神の作品となるでしょう。それらの中を歩いてください。」

「そして、キリストの賜物の割合に応じて、恵みが私たち一人一人に与えられました。」エペソ人への手紙 4:7。神が与えた賜物は神の独り子であり、「彼の中には神なる神の満ち足りたすべてが肉体をもって宿っている」のです。コロサイ 2:9。したがって、神の計り知れない親切のおかげで、恵みは私たち一人一人に計り知れないほど与えられています。「神の恵みがすべての人を救うために現れた。」テトス 2:11。私たちがそれを受け取るかどうかは別の問題です。神は私たちが完璧であることを望んでおられます。「あなたの天の父が完璧であるように、あなたも完璧になりなさい」。マタイ 5:48。これを達成するために、神は「聖徒を完全にするため…キリストの満ち足りた身長に応じて、私たち全員が一致して完全な成人になるまで」すべての恵みを与えてくださいました。”。エペソ人への手紙 4:12 と 13。

自分が受けるに値すると思う程度ではなく、神が与えてくださった範囲で神の無償の恵みを受け取りましょう。そうすればあなたもイエス様を好きになるでしょう。「自分自身を神に捧げなさい」。ローマ人への手紙 6:13 「また、神の恵みを無駄に受け取らないようにお願いします。」 II コリント 6:1。

7 - 恵みか罪か？

恵みの王国の下では善を行うのは簡単ですが、罪の王国の下では悪を行うのは簡単です。恵みが罪よりも強力でなければ、罪からの救いはあり得ません。したがって、クリスチャンが義を実践することは、罪人が罪を実践するのと同じくらい簡単であり、恵みがあるかに豊富であるため、さらに簡単です。人が罪の奴隷になる限り、善を成就することは不可能です。最大の力であるキリストが統治するとき、罪はもはや統治できなくなります。「罪があふれるところには、恵みもおさあふれるのです。」ローマ人への手紙 5:20。恵みは神から来ます。「あなたに恵みと平安が私たちの父なる神と主イエス・キリストからあります。」コリント人への第一の手紙 1:3。

罪はサタンに由来します。「罪を犯す者は悪魔から来た者です。悪魔は最初から罪を犯しているからです。この目的のために、神の御子は悪魔の業を滅ぼすために現れました。」ヨハネ第一 3:8。恵みには罪よりもはるかに大きな力があります。罪の王国はサタンの王国です。恵みの王国は神の王国です。したがって、神の力によって神に仕えることは、サタンの力によって罪に仕えるのと同じくらい簡単です。

しかし、私たちはサタンの力で神に仕えることはできません。だから、「生まれ変わらなければならない」のです。ヨハネ 3:7 「キリスト・イエスにとって、割礼の有無は何の意味もありません。信仰は愛によって働くのです。」ガラテヤ 6:15。

私たちは、私たちの主であるイエス・キリストを通して永遠の命を得るために義によって統治される神の恵みに豊かな恵みをもって神に仕えなければなりません。「彼がすべての面で兄弟のようになるのはふさわしいことだった。」ヘブライ 2:17。「すべてのことにおいて」は、「一つを除くすべてのことにおいて」という意味ではありません。イエスご自身も私たちと同じように弱かったのです。「私は自分の力では何もできません」（ヨハネ 5:30）と宣言されたからです。イエスが罪を克服されたのは、ご自身を決して信頼しなかったからですが、イエスの信頼は常に神の言葉と神の恵みのみでした。父は彼の内に住み、正義の業を行った。したがって、彼にとって善を達成することは常に容易でした。

神がそうであるように、私たちもこの世界にいます。神は私たちがその足跡に倣うための模範を残してくださいました。「なぜなら、神はあなたの内に働いて意志と行動を起こさせる方だからです。」ピリピ 2:13。まさにイエスの場合と同じです。「彼[イエス]のうちに、神の満ち満ちたすべてが肉体的に宿っているからです」（コロサイ 2:9）。クリスチャンはキリストのうちに住み、キリストも彼の内に住み、神の聖霊によって強められ、義において（キリストの義において）神に喜ばれることを達成し、「子羊が行くところどこにでも従う」（黙示録 14:4）のです。

小羊はご自分の追従者たちを「神の戒めとイエスの信仰」を守るための「聖徒たちの忍耐」へと導きます（黙示録 14:12）。「彼ら[サタンの世界]は小羊[イエスとその罪の王国]と戦い、小羊は彼ら[罪の王国]に勝つでしょう。なぜなら、彼は主の中の主であり、王の中の王だからです。」召され、選ばれ、忠実な人々も勝利するでしょう。」黙示録 17:14。「神の王国はあなたの中にあります」

（ルカ 17:21）そうすれば、あなたは新たな人生を歩むことができます。そうすれば、それ以降、それはもはや罪に仕えることがなくなります。それは彼がただ一人義の僕となるためである。それはあなたが罪から解放されるためです。そうすれば、罪があなたを支配することはありません。それは彼が地上で神の栄光を現すためです。そしてあなたがイエスに似るようになるためです。したがって、「恵みはキリストの賜物の尺度に従って私たち一人一人に与えられます...私たち全員が一致に達するまで」

信仰において、そして神の子についての知識において、完全な人間性へ、キリストの満ち足りた程度まで。」 「また、神の恵みを無駄に受けたくないようお願いします。」

罪を犯さないように十分な恵みを！

そうです、本当に世界中の誰もが、罪を犯さないようにするのに十分な恵みを持つことができます。十分な量が与えられていますが、多くの人には与えられたものを受け取っていません。「恵みはキリストの賜物の割合に応じて私たち一人一人に与えられました。」（エペソ人への手紙 4:7）。どのような措置が認められたのでしょうか？それはキリストご自身の賜物が完全に与えられた尺度であり、それは「神なる神の満ち足りたすべて」の尺度です（コロサイ2:9）。与えられる尺度は無限である。なぜなら、「罪があふれるところには、恵みがなおさらあふれるからである」。（ローマ人への手紙 5:20）。この恵みは、「罪が死を通して支配したように、恵みが義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命に至るためである。」（ローマ人への手紙 5:21）。そしてそれは、あなたが恵みの中にあるので、罪があなたを支配しないようにするためにも与えられています。それはまた、「わたしたち全員が信仰において一致し、神の子についての知識を獲得し、完全な人間性を獲得し、キリストの満ち足りた程度に達する」ためにも与えられています。

なぜ理解できない人もいるのですか？なぜなら、彼らは提供されたものを受け取りたくないからです。もし罪がまだ誰かの中に支配しているとしたら、それは不信仰によるものです。罪が誰かを支配し、恵みはその人を支配しないのであれば、恵みは罪人を完璧に導くことはありません。罪を克服する神の恵みの力は、それを受け取りたくない人々には無駄に与えられます。神の恵みは、その働きが許される限り、与えられたものを完全に達成することができます。恵みの力は神の力です。

神の力は「信じる者すべてを救うため」です。（ローマ人への手紙 1:16）。多くの人々は、過去の罪からの救いとして神の恵みを信じて受けていますが、これに満足しており、犯した罪の力に対抗して統治するために、魂の中で同じ場所を神に与えようとはしません。これらの罪から救われてください。これは不信仰であり、「義人は信仰によって生きる」という考えは彼らの人生において無効となり、神の恵みを無駄に受け取ることとなります。

II でわかるように、神の全能の恵みはこのような形で与えられます。
コリント 6:4-9:

「すべてにおいて自分自身を推奨します」。
「かなりの忍耐の中で」。
「苦難の中で」。
「剥奪の中で」。
「まつげの中に」。
「刑務所の中」。
「暴動の中で」。
「工事中」。
「夜通しで」。
「断食中」。
“Na pureza”;
「知らない」。
「忍耐強く」;
「優しさの中で」。
「聖霊において」。

「偽りのない愛の中で」。
「真実の言葉で」
「神の力によって」。
「攻撃的であれ防御的であれ、正義の武器によって」。
「名誉のためにも、不名誉のためにも」。
「悪名と良い報告のために」。
「欺瞞者として、そして誠実であること」。
「知られていないが、よく知られている」。
「あたかも私たちは死につつまあるかのように、しかし見よ、私たちは生きているのです」。
「悲しいけれど、いつも幸せです」。
「貧しいが、多くの人を豊かにしている」。
「何も持っていないが、すべてを持っている。」

神の恵みが無駄に受け取られない場合、その恵みは人生を支配し、支配し、人生を奪うすべての経験は恵みによって運ばれ、私たちが神に認めさせ、私たちが築き上げる効果を発揮します。キリストの満ち足りた身長
の尺度において、完璧に。「そして、私たちも神の協力者として、神の恵みを無駄に受け取らないように願
います。」 IIコリント 6:1。

「すべてのものはあなたのために存在するからです。」 IIコリント 4:15 「神を愛する者にとっては、すべての
ことが益となるよう共に働きます。」ローマ人への手紙 8:28。

コリント人への手紙第二 6 章の前述のリストにあるすべての事柄が連動して、信者は「常に」「キリス
トにおいて勝利する」ことができるようになります。神の恵みの賜物が心に受け入れられると、キリストの仕事は
神の愛を心に置くことです。書かれているとおり、その結果はこうなります。「神のさまざまな恵みの良き管理者
として、それぞれが受け取った賜物に応じて互いに仕えなさい」。ペテロ第一 4:10. 恵みは、一度受けたら、私た
ちが「イエス・キリストを通して」受け、和解の務めを与えてくださったのと同じように、他の人にも分け与えら
れなければなりません。 IIコリント 5:18. 和解を受けるすべての人には、他のすべての人を和解させる務めが与え
られます。「また、神の恵みを無駄に受けないうお願いいたします。」

あなたは恵みにあずかる者ですか？ですから、他の人に「恵みを与え」、それを無駄に受け取らないで
ください。あなたは神と和解していますか？そして、神はあなたに和解の奉仕も与えてくださったことを知ってくだ
さい。あなたはこの奉仕を無駄に受けましたか？「あらゆることにおいて、神の奉仕者として自分たちを称賛す
るのです。」 IIコリント 6:4. 私たちは「神の奉仕者」になることはできません。私たちは神に協力しなければな
りませんが、神が協力しないと宣言して信仰を失ってはなりません。神はあなたに召されたことを達成するための
計画を持っています。

これらの計画は、神によって他の人が成就するように召されたものではなく、また、それをキリストに啓示した者
の業と同様の計画ですらありません。あなたは特別であり、キリストがあなたに果たすように召された召命と奉仕
は特別です。教会組織や家族はあなたの召しを明らかにすることはできません。あなたは自分自身で神の御心
を知ろうと努めなければなりません。

「彼は、神に關係する事柄において慈悲深く忠実な大祭司となり、民の罪のためになだめを行うために、
あらゆることにおいて兄弟たちと同じ者とされなければならない。」ヘブライ 2:17 このように、神は「私たちの
ために神を罪とされた」のです。 IIコリント 5:21。「主は私たち全員の咎をその上に負われた」イザヤ書 53:6。

このように、キリスト・イエスは、私たちの肉体において、不法に満ちた本性を持ち、自ら罪を犯してこの世に生き、
私たちと同じようにあらゆる点で誘惑を受けました。

しかし、神は常に神において勝利をもたらすように導き、あらゆる場所で神を通して神の知識を明らかにされました。

このように、神は肉体において、つまり私たちの肉体において、罪を負った人間の肉体において現れ、そして私たちの肉体と同じように弱く、誘惑に遭いながら、ご自身において罪となったのです。

そして、これは今日そして永遠に神の神秘です。神は肉において、人間の肉において、罪を負い、誘惑され、試みられている肉において現れます。この肉体において、神は信者がどこにいてもご自身の知識を明らかにされるでしょう。これを信じて神の聖なる御名を讃美しましょう。これは神の神秘であり、信者の中での力強い働きによってその完全な形がもたらされます。神は今日、真の信者一人一人の肉体、行為と真実、戒めとイエスの信仰の遵守においてご自身を現しておられます。各信者は罪深い肉体で生き、神の言葉を生きることによって罪を克服し、神の言葉を伝えています。生きた「神の言葉」から受け取った「イエスの証し」。黙示録 19:13。

新しい心 - 古い肉体

回心は古い精神に新しい肉体を与えるものではありません。しかし、古い肉体の中に新しい霊（新しい心）が生まれます。救出と勝利は、人間の本性を取り除くことによってではなく、人間を支配する神の本性を受け入れることによって得られます。それは、罪深い肉体を取り除くことによってではなく、肉体の罪を克服し、罪に定める罪のない霊を取り込むことによって得られます。聖書には、「キリスト・イエスと同じ肉体をあなたの中に持ちなさい」とは書かれていません。むしろ、「キリスト・イエスの中にあつたのと同じ感情を自分の中に持ちなさい」と勧めています。ピリピ 2:5。聖書は、私たちの肉体を新しくすることによって変えられるとは言っていない。しかし彼はこう言います、「心を一新して変わりなさい」。ローマ人への手紙 12:2。

私たちは肉体を新しくすることによって変換されますが、精神を新しくすることによって変えられる必要があります。主イエスは、同じ肉と血（私たちの罪深い肉とまったく同じ肉）、同じ人間の性質を取り、私たちがそうするようにしました-そして罪のために、そして神の御心を通して神の御霊の力によって、イエスにおいて、「肉における罪を罪に定めなさい」。ローマ人への手紙 8:3。そこに私たちの救出があり（ローマ人への手紙 7:25）、そこに私たちの勝利があります。「キリスト・イエスの中にあつたのと同じ感情を自分の中に持ちなさい。」ピリピ 2:5 「わたしはあなたに新しい心を与え、あなたの中に新しい霊を入れます。」エゼキエル 36: 26。あなたの内なる神の霊は、あなたの肉体の罪深さをますます明らかにするでしょう。落胆しないでください。「それは、罪が死を通して支配したように、恵みが義を通して支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命に至るためです。それで、何と言いましょか？恵みをもっと豊かになるように、私たちは罪の中に留まり続けるべきでしょうか？」ファリサイ派の独善性は、「神は人間を尊重しない」という神の真理を否定します。ローマ人への手紙 2:11。コロサイ 3:25。彼らの生活は、不義、抑圧、悪意、ねたみ、争い、真似、噂話、偽善、邪悪、自慢、法律違反、神の不名誉に支配され、心は殺人でいっぱい、舌は泣き叫んでいました。

彼の兄弟の一人の血を大声で非難した。それでも彼らは、「汚染される」ことを恐れて、ローマ法廷の敷居を越えようとはしませんでした。安息日と同じくらい熱心だと思われるが、神聖な時間を危険なスパイ活動や暗殺計画に費やしている。

イスラエルに対する神の言葉は次のとおりでした。「私はあなたの祭りを嫌い、軽蔑し、あなたたちの厳粛な集会を楽しみません。たとえあなたが全焼のいけにえや穀物のいけにえを私にささげても、私はそれらを喜ばず、あなたの太った動物の和解のいけにえも考慮しません。あなたの歌の騒音を私から遠ざけてください。わたしにはあなたの豎琴の調べが聞こえないからです。むしろ裁きは水のように流れ、義は永遠の流れのように流れ落ちなさい。」アモス 5:21-24。そしてユダに対してもほぼ同じことを言い、それを「ソドム」と呼び、ユダの民を「ゴモラの民」と呼んだ。彼は、「あなたの手は血だらけです」と言いました。

「身を洗い、身を清め、わたしの目の前から自分の行いの悪を遠ざけなさい。悪を行うのはやめなさい。良いことをすることを学びましょう。正義を守り、抑圧者を叱責する。孤児の権利を守り、未亡人の大義を訴えます。それゆえ、来て、一緒に論じましょう、と主は言われる。たとえあなたの罪が緋色であっても、それは雪のように白くなるでしょう。たとえそれが深紅のように赤くても、それらは白い羊毛のように変わるだろう。」

イザヤ書 1:16-18。

主はこれらの祝日、集会、全焼のいけにえ、肉のいけにえ、和解のいけにえを定められましたが、今ではそれらを憎んで受け入れないと言われました。彼は彼らの音楽やチャントを「うるさい」と考えており、削除することを望んでいます。祭りは、神の言葉に対する生きた信仰とその義を崇拜することを表現するものであり、それによって神の言葉の実行者、キリストの義の実行者となる忠実な聴衆に浸透します。行為と歌における生命と愛、信仰と崇拜の関係だけが神に受け入れられます。形式主義は欺瞞的な詐欺であり、霊と真実において心から湧き出る神の愛を持っていません。

今日の形式主義

キリストの代わりに自分自身を高める人々は、常に信仰によって生きる心を冷酷な形式主義に置き換え、神への愛や真理の言葉よりも形式や伝統を高く評価します。今日もまた、一万の人間の発明が教会に入り、神の御言葉を超えて自らを高めています。真実のイエス・キリストとの関係と愛に満ちた人生を通して、人々を真の義から遠ざける苦行、巡礼、伝統、細かい区別、狂信。そしてこれらすべては、戦い、争い、偽善、不法行為、迫害、スパイ活動、裏切り、その他あらゆる邪悪な行いといった肉の業に現れます。これらは教皇庁によってさまざまな教会に導入された伝統です。形式と美しい儀式、プライドと知的傲慢（信仰を欠いた神学の博士号）が愛と信仰に取って代わり、膝を曲げて自分自身と自分の正義を「祝う」ことをしない真のクリスチャンは迫害されます。目。

「しかし、これを知っておいてください。終わりの日には困難な時代がやって来ます。なぜなら、人間は利己的で、貪欲で、高慢で、傲慢で、恩知らずで、不遜で、不遜で、容赦なく、中傷する者であり、自制心がなく、残忍で、善の敵であり、裏切り者であり、大胆で、高慢で、神を愛する者というより快樂を愛する者であり、形を持っているからである。しかし、敬虔さについては、その力を否定しています。これらも避けてください。」テモテ第二 3:1-5。今日の形式主義で否定されている力は、イエス・キリストが心に入り、「神の民を罪から救う」力です。マタイ 1:21。ユダヤ人たちは、生きているキリストや生きているキリストの預言者がいなくても永遠の命を見つけることができると考えていました。

聖書、あなたはその中に永遠の命があると思っているからであり、聖書そのものがわたしについて証しているのです。

それなのに、あなたは命を得るためにわたしのもとに来たくないのです。」ヨハネ 5:39 と 40。

彼らは、キリストなしで、つまり聖書を自分たちで実践することによって、聖書の中に永遠の命を見つけたと考えていました。しかし、「これは、神が私たちに永遠の命を与えてくださったという証拠です。そしてこの命は御子の中にあります。なぜなら、聖書はイエスについて証言しているからです。それが彼らの目標です。

したがって、「御子を持つ者は命を持っており、御子を持つ者は命を持っています。御子を持たない者には命がありません。」

ヨハネ第一 5:11 と 12。聖書研究による救いであれ、祈りによる救いであれ、異言による救いであれ、あらゆる形の「行いによる救い」は、救い主イエス・キリストへの信仰による恵みによる救いの否定です。生きている。

当時、イエス・キリストを拒否したユダヤ人を聖書が救うことができなかったのと同じように、今日「預言の霊」である「イエスの証し」を拒否するユダヤ人を聖書は救うことができません。「彼らは救われるための真理の愛を受け取りませんでした。このような理由から、神は彼らに、救われるべき真理への愛を受け入れなかったために滅びる人々に、嘘の功績を認め、あらゆる不当な欺瞞を伴う誤謬の作戦を彼らに送ります。したがって、神が真理を信じなかったすべての人々を裁くために、彼らに誤謬の作戦を送ったのはこのためです。しかし、それどころか、彼らは不正を喜んでいたので。」 IIテサロニケ2 :10-12。

8 - 神の不変の約束

アブラハムが割礼の印を受けたのは、信じさせるためではなく、信じたからです。したがって、それは義の印章で封印された義の契約であり、相続財産は義人以外が獲得できない義の相続財産となるはずでした。それは「永久所有物」でした。創世記 17:8 「しかし、私たちは神の約束に従って、義が住む新しい天と新しい地を探しています。」 II ペテロ 3: 13. 神が自分の心に義を呼び起こすことができると信じない人間は、進化論を通じて天地創造のモザイク記録を破棄する人間と同じくらい不誠実です。神の創造的な言葉の力に制限を設けることはできません。神の約束は不変であり、その不変の約束は不変の誓いによって確認されました。したがって、神には、神を主張するすべての人に対する約束を果たす義務があります。神自身の王座と存在はこれの証人であり、従わないことは神がご自身を否定することに等しいでしょう。最後に神は来てこう言われるでしょう、「わたしの聖徒たち、犠牲を通してわたしと契約を結んだ者たちを集めなさい」 。詩篇 50:5. ここで言及されている犠牲はキリストです。私たちが行くのは彼を通してです。彼はコンサートの保証人だ。アブラハムとの約束はただ一つ、彼に息子がいることにかかっています。約束からその実現まで25年が経過した。「彼は不信仰によって神の約束を疑いませんでした。しかし信仰によって彼は強くなり、神に栄光を帰しました。」ローマ人への手紙 4:20。

アブラハムは約束を得るために信じる以外に何もしませんでした。しかし、約束の息子は彼自身の息子でした。これがクリスチャンの場合です。キリストの義を得るには、約束を信じる以外に何もできません。神は私たちが義とすることを約束されました。その義を得る唯一の方法は、神がそれを正当化できると信じることです。男性の場合

神を信じ、神に服従することに満足している人々は、自分の力がなくても、彼らのために正義を実現するという神の約束には力があります。として？「それによって、神の貴重で非常に偉大な約束が私たちに与えられました。それを通して、あなた方は神の性質にあずかることができますのです。」 IIペテロ 1:4. 力は神の約束の中にあります。どうすれば約束を自分の中で有効にできるでしょうか？ - 彼らを信じています。「私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であり、私たちの罪を赦し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」ヨハネ第一 1:9。

自分の罪を告白し、神が約束通り許してくれると信じてください。そうすれば、その約束はあなたのものとなり、あなたの罪は赦されます。神の約束は約束手形にたとえられます。これらのメモを何人が所有できますか？「誰が望んでいます。」「御霊と花嫁は『来なさい』と言います。聞く者はこう言わせなさい、「来なさい」。渴いている人は来なさい、そうすれば望む人は誰でも無料で命の水を受け取ることができます。」黙示録 22: 17. 神は、「私たちの内に働く神の力に応じて、私たちが求めたり考えたりするすべてよりも計り知れないほど多くのことを行う」ことができます。エペソ人への手紙 3: 20. 人は神の約束手形を自分のものにして、祝福と引き換えに現金化するかもしれません。

キリストには不公平はありません！

「ですから、わたしたちは信仰によって義とされる、つまり信仰によって律法に従うことによって、「わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和が得られます。」私たちが律法に従い、罪に定められることなく生きる唯一の方法は、神の約束を信じることです。キリストには不正はありません。したがって、神の中に正義でないものは何もありません。キリストを信じるクリスチャンはキリストの義を持っています。しかしヤコブは、行いがなければ信仰は無価値だと断言します。「それでは、愚かな人よ、行いのない信仰は役に立たないということを知りたいですか？」ヤコブ 2:20. 行いは信仰を完全なものにします。「信仰が彼の行いとどのように連携したかがわかります。実際、信仰は行いによって達成されました。」ヤコブ 2: 22. 行いは信仰の展開です。しかし、人が義とされるのは、信仰と信仰によってのみです。「神は、あなたがたのうちに働いて、御心にかなうように意志し、実行させてくださるからです。」ピリピ人への手紙 2:13。

私たちはキリストの手に自分自身を委ねます。彼は来て、私たちの中に家を作ります。私たちは陶芸家の手の中にある粘土です。しかし、すべての良い行いを行うのはキリストであり、すべての栄光はキリストに属します。「私たちは神との間に平和を持っています。」平和は感情ではなく、事実です。平和は、戦争、紛争、模倣の対極です。私たちは神と平和にいるか、戦争状態にあるかのどちらかです。もし私たちが戦争状態にあるとすれば、それは私たちが反逆を続け、罪深い慣習に従って神と戦っているからです。進んで罪深い行為に従事する人は誰でも、神に対して戦争をしていることとなります。神は平和の神です。キリストは信者たちに平安を残されました。「キリストの平和があなた方の心を支配しましょう。」

コロサイ 3:15。「そして、あらゆる人知を超えた神の平安が、キリスト・イエスにあってあなたがたの心と意思を守るでしょう。」ピリピ人への手紙 4:7。

無条件の服従は神との平和をもたらします。「あなたの律法を愛する者には大きな平安があります。彼らにとっては何の障害もありません。」詩篇 119:165.もしあなたがわたしの戒めを聞いていたら！そうすれば、あなたの平和は川のようになり、あなたの正義は海の波のようになるでしょう。」イザヤ書 48:18. イエス・キリストは「昨日も今日も永遠に同じです」。ヘブライ人への手紙 13:8. このように、神の平安は、絶え間なく流れる川の流れや、絶え間なく打ち寄せる海の波にたとえられます。したがって、すべての罪が消えたとしても、その感情が何であるかは問題ではありません。

神は忠実であり、彼らを許してくださると告白した。平和の状態とは、信仰によって義とされる状態です。

イエスの出現を愛する

「私たちも、この方（キリスト）を通して、信仰によってこの恵み（過大な許しと恩恵）にアクセスすることができ、その恩恵にしっかりと立っています。ローマ人への手紙 5:2 もし私たちが今の人生で主にあって喜んでいなければ、来るべき人生においても主にあって喜ぶ希望はありません。クリスチャンは次のように言われています。「これらのことが起こり始めたら、喜び、顔を上げなさい。あなたの救いは近づいているからです。」ルカ 21:28. 私たちは未来ではなく、現在に生きています。救いは神の王国にいるときと同じように、今日も私たちに属します。私たち以外の誰もそれを奪うことはできません。「あなたの信仰の終わり、あなたの魂の救いを得るのです。」ペテロ第一 1:9。

将来、人々を罪のない天国に導くこの同じ力が、今日の人々を罪のない調和に保っているのです。神が今日あなたを罪から救うことができないとしても、将来もあなたを罪から救うことはできません。しかし、「神の民を罪から救う」（マタイ 1:21）というイエスの力は、今日においては無限です。「彼は（今日）「すべてのものを自分に従わせる」ことができます。ピリピ 3:21。「このため、神はご自分を通して神のもとに来る人々を完全に救うこともでき、常に生きて彼らのために執り成しをしています。」

ヘブライ 7:25. 神の恵みは「神の栄光の富」によって裏付けられています。「それは、主が、その栄光の富に応じて、内なる人の中にある主の御霊を通して、力によって強められることをあなたに与えてくださるためです。」エペソ人への手紙 3:16. 神の恵みは神の栄光に等しい。神の御座は栄光の御座です。

この人生の艱難と世話を！

「私たちはまた、艱難を誇りに思います。艱難が忍耐を生み出すことを知っています。」ローマ 5:3. 艱難は、信仰によって義とされていない人々に焦りをもたらします。「あなたの不安をすべて神に託してください。神はあなたのことを気にかけてくださっているからです。」ペテロ第一 5:7 「あなたの世話を主に委ねなさい。そうすれば神はあなたを支えてくださるでしょう。神は正しい者たちが動揺することを決して許しません。」詩篇 55:22 「すべて苦労している人、重荷を負っている人は、わたしのもとに来なさい。そうすれば私はあなたたちを休ませてあげます。」マタイ 11:28. 私たちが信仰によってイエスに重荷を委ねると、イエスは私たちの代わりにその重荷を背負ってください。それらを（大小問わず）イエスに渡して、「彼はそれを持っています」と言いなさい。

殉教者たちは喜びの歌を口にしながら、キリストが重荷を背負って闘技場と火刑に向かいました。彼の中で彼らは平和を保っていました。「というのは、あなたがたのうちに働いて、ご自分の御心にかなうように意志させ、実行させてくださるのは神だからです。つぶやいたり議論したりせずに、すべてをやりなさい。」「私を強めてくださるキリストを通して、私は何でもできるのです。」

（フィリピ 2:13,14; 4:13）「神の力の言葉によって」。ヘブライ人への手紙 1:3. 今すぐ主を体験してください。そうすれば、試練の時にも主はあなたを忘れられません。今日、神の御言葉に対して生きた信仰を働かせれば、試練の時は喜びとともに乗り越えられるでしょう。

自分の信仰の言葉を研究してください

神の御言葉を研究する人々の心に浮かぶ動機はただ一つ、それは、この研究によって彼らが神に近づくかもしれないということです。彼は人を尊重しません。神は求める者には誰にでも聖霊を与えてくださいます。彼は、聖書の真理を他の人に伝えるのと同じように、喜んで伝えようとしています。説教壇から語られる内容によって、彼らの心に平和と光がもたらされるのです。しかし、もしあなたがその言葉を自分自身で知らなければ、この平和と光はあなたの中に残ることはありません。聖霊は聖書の言葉に靈感を与えたものであり、聖霊の助けがあって初めて聖書の言葉を理解することができます。聖霊に服従する人は誰でも、聖書を自分で理解できるようになります。神の聖霊こそが、聖書を理解するための唯一の真の助けです。たくさん祈って、聖書そのものから聖書を学びましょう。

神の言葉の力

「というのは、雨や雪が天から降ってきて、まず地に水を与え、実りを与え、芽を出させ、種を蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与えるまでは、そこに戻ってこないのと同じように、言葉もそうなるのです」それがわたしの口から出たとしても。それは空しくわたしのもとの戻ることはなく、わたしの望むことを行い、わたしが定めた事柄で繁栄するであろう。」イザヤ書 55:10 と 11。

地球は空から雨や雪として降ってくる湿気によってのみ植物を生み出します。これがなければ、すべてが消えて滅びてしまうでしょう。人間の命と神の言葉も同様です。神の言葉がなければ、地球に雨が降らないのと同じように、人間の人生には力も善も欠けています。しかし、ただ神の言葉が地上の雨のように心に降るようにしてください。そうすれば、人生は主の喜びと平和の中で緑豊かで美しくなり、イエス・キリストによる義の実が実ります。ここで説明されているのはイエスの実ではなく、イエスの実です。「彼は私の思い通りにやってくれるでしょう。」イザヤ書 55:11. 神の言葉を読んだり聞いたりして、「これをしなければならぬ、あれをしなければならぬ」と言うべきではありません。むしろ、「自分の中に豊かに住む」ことを許可しなければなりません。キリストの言葉です。」コロサイ 3:16。

。 。 。

そうするためには、神の言葉があなたの内に働いていなければなりません。「このため、私も一生懸命働き、私の中で効率的に働く彼の効果に応じて、可能な限り一生懸命努力します。」コロサイ 1:29. 信仰によって、言葉はそれ自体で成就したもののみなします。人間の言葉は成就するために実行されなければなりません。神の言葉はそれ自体で機能します。そして、私たちはそれを神の言葉として信仰によって受け取り、それが私たちの内にある神の目的を効果的に達成する必要があります。「主が語られ、それが成就したからである。」詩篇 33:9。「信仰によって、私たちは宇宙が神の言葉によって形成され、目に見えるものが存在しないものから生じたということを理解します。」ヘブライ人への手紙 11:3。

聖書の神の言葉は、人生においても、霊においても、創造力においても同じです。

イエス・キリストは天地創造の時に言葉を語り、魂を救い聖別する言葉を語られました。「彼女はやってくれるよ」。罪「からの救い。「私たちにこの救いの言葉が送られました。」使徒 13:26 「それで、私はあなたを主と、あなたを築き上げ、聖なる者すべての中で相続財産を与えることができる主の恵みの言葉にあなたを捧げます。」

使徒 20:32。

百人隊長はイエスに、「一言言ってください。そうすれば私の息子は癒されます。」と言った。マタイ 8:8 百人隊長は、「あなたの信仰に従って、そのとおりにしましょう。」という言葉信じました。。「彼女はそれを神の真実の言葉として受け入れ、彼女が言ったことが成就するのを待ちました。

そしてそれは起こりました。この言葉は今日でも「生きており、永遠に残ります」。ペテロ第一 1:23。役人は「主よ、息子が死ぬ前に降りてきてください」と懇願しました。ヨハネ 4:49 この信仰（神の言葉への信仰）に対してイエスはこう答えました。。。。あなたの息子さんは生きています。」ヨハネ 4:50。イエスはこう宣言されました。「イスラエルでもこのような信仰を見つけたことはありません。」マタイ 8:10、ルカ 7:9。

「それにもかかわらず、人の子が来るとき、彼は地上に信仰を見出すでしょうか？」ルカ 18:8。この質問は、今、終わりの時代に生きているあなたたちに向けられています。この言葉によってあなたは「義とされ」、「聖められ」、罪から「清められる」でしょうか。「あなたが清くなったのは、わたしがあなたに話した言葉のおかげです。私の中に留まります。。。。なぜなら、私なしではあなたは何もできないからです。」ヨハネ 15:3 と 4。「見よ、らい病人がやって来て、イエスを拝んで言った、「主よ、御心ならば、わたしを清くして下さることがおできになります。」そしてイエスは手を伸ばして彼に触れて言われた、「私は清くなりたいです。」そしてすぐに彼のハンセン病は清められた。」マタイ 8:2 と 3。ルカ 5:12 と 13。今日の罪人は、神の言葉への信仰によってこう宣言します。。。。「あなたは私を罪から救うことができます、そしてイエスは答えます、「私は清くなりたいです」。神の創造的な言葉を受け入れてください。

「すべての人」への債務者たちよ！

「割礼を受けることを許可するすべての人に、律法全体を守る義務があることをもう一度証します。」ガラテヤ 5:3。この聖句は割礼を受ける必要がないことを示しているのです、私たちには神に従う義務がないのでしょうか。ここでの「義務がある」という表現は、人が借金を一切返済できず、打ちひしがれて道に迷ってしまい、「死」である「罪の代償」を支払わなければならないことを意味します。しかし、私たちの借金を返済するためにご自分の独り子を与えてくださった神に感謝します。ただ信じて受け取ってください。「金持ちになるために火で精錬された金を私から買って下さい。自分を着飾るための白い衣服を。」黙示録 3:18。「さあ、お金も代価もなしに買いなさい。イザヤ書 55:1。ガラテヤ人への手紙 5:3 は、人間が窃盗、殺人、姦淫を犯し、偽りの神々を崇拜し、偶像を崇拜し、神を呪い、安息日を破ったことを正当化するために、キリストが十字架で死んだことを意味します。第四の戒め、主イエス・キリストの日？ "全くない"。"そして？私たちは律法の下ではなく恵みの下にいるからといって罪を犯してしまうのでしょうか？全くない。あなたがたは、死に至る罪にせよ、義に至る従順にせよ、従順のために自分を僕として差し出す者、自分が従う者は僕であることを知らないのか。しかし、神に感謝します。なぜなら、あなたはかつて罪の奴隷であったにもかかわらず、自分に与えられた教義の形式に心から従うようになったからです。そして、ひとたび罪から解放されると、あなたたちは義の僕とされたのです。」ローマ人への手紙 6:15-18。

9 - 御霊のうちに歩もう！

「しかし、私は言います、御霊によって歩みなさい、そうすれば決して肉の欲望を満たすことはできません。というのは、肉は御霊に敵対し、御霊は肉に敵対するからです。それらは互いに反対しているからです。それは、あなたがたが自分の意志であることを行うことができないためです。しかし、もしあなたが御霊に導かれているなら、あなたは律法の下にいません。」ガラテヤ 5:16-18。神の子として、彼らは御霊の心、キリストの心を持っています。そして彼らは心で「法則に奉仕する」のです。

神"。「私自身、心の中では神の律法の奴隷です。」ローマ人への手紙 7:25。

この点において、神の御霊に導かれ、キリストの心を持っている人は皆、律法を全うします。なぜなら、この罪のない御霊によって神の愛が心に注がれ、それ自体がそれを持つ者の律法を成就するからです。一方、肉に導かれ、肉の心を持っている人は肉の働きをするので、罪の法則に仕えることになります。

肉に導かれている人は、自分が望む善を行うことはできません。むしろ、彼は罪の法則に仕えており、したがって律法の非難の下にあります。しかし、「御霊に導かれる者は律法の下にありません」。なぜなら、その人を導く聖霊は罪を犯さないからである。すべての人はいつでも自分の道を自由に選択できます。「肉に従って生きれば死にます。肉に従って生きるなら、あなたは死にます。」しかし、霊によって肉体の行いを殺すなら、あなたは必ず生きるでしょう。」ローマ人への手紙 8:13。ガラテヤ人への手紙、ローマ人への手紙、コロサイ人への手紙では、肉はその真の肉の本性において、神の霊を持つ者とともに依然として存在しており、この肉は戦争状態にあるという見解が常に提示されていることに注意してください。御霊とともに。

「回心した」人は誘惑から自由ではなく、同じ罪深い傾向と欲望を持っています。しかし、個人はもはやそのような制約を受けません。彼は肉の傾向と欲望を伴う肉への服従から解放され、今は御霊に服従しています。彼は今、あらゆる好みや欲望を伴う罪深い肉体を克服し、制圧し、十字架につけ、制御下に置く力に支配されています。したがって、「御霊によって」「からだの行い」が殺されると書かれています。ローマ 8:13 「ですから、あなたの地上的な性質、すなわち不品行、不純、情欲、邪悪な欲望、そして偶像崇拜である貪欲を殺しなさい。」コロサイ 3:5 これらのものはすべて肉の中に含まれており、肉が統治する必要がある場合には生きて統治することになることに注意してください。しかし、ひとたび肉自体が御霊を通して神の力に服従すると、これらすべての邪悪なものは根本から殺され、したがって人生に現れることが妨げられます。

肉の力に支配されている人は「肉的であり、罪の下に売られている」（ローマ人への手紙 7:14）。彼は善を行うことを切望し、善を行うことを望んでいますが、彼は肉の力に支配されており、彼が望む善を行うことはできません。「なぜなら、私は自分が好む善を行うのではなく、望まない悪を行うのが私の仕事だからです。」ローマ人への手紙 7:19 「ですから、善を行おうとすると、自分の中に悪が宿るという法則が見つかります。なぜなら、内なる人に関して、私は神の律法を喜んでいるからです。しかし、私は私の肢体にある別の法則があり、それが私の心の法則に反して、私を私の肢体にある罪の法則の囚人に見ているのを見ます。私は残念な男だ！誰が私をこの死の体から救い出してくれるのでしょうか？」これは、肉に服従し、肢体の中にある「罪の法則」に服従する人間を表しています。そして、人が肉の力を捨てて善を行おうとすると、その力はなおも彼を束縛し、肉の支配下、つまりその肢体にある罪の法則の下に留めてしまうのです。

しかし、その力から解放されることがあります。「私は残念な男です！誰が私をこの死の体から救い出してくれるのでしょうか？」答えは「私たちの主イエス・キリストを通して神に感謝します。」です。キリストだけが解放者であるため、解放があります。コンテンツは克服されません。戦いに終わりはなかった。まだまだ戦いは続く。「これが私の戦い方であり、空中に打撃を与えるようなものではありません。」コリント人への手紙第一 9:26。その闘いとは次のようなものです。「しかし、私は自分の体を打ち、奴隷の状態に陥らせます。そうすれば、他の人に宣べ伝えたからといって、私自身が失格にならないようにするためです。」コリント人への手紙第一 9:27 このように、クリスチャンは肉の力と罪の法則から解放されているので、自分の体、つまり自分の肉と、その好みや快楽で戦い、服従させ続けます。コリント人への手紙第一で「私は奴隷にされた」という意味です。

文字通り、「目の下を殴り、顔を青くなるまで殴り、殴る」。それは次のように表現されています。しかし、私は自分の体を傷つけ、それを強制的に服従させました。」

このように、ローマ人への手紙 7 章には、肉の力とその肢体にある罪の法則に支配されながらも、解放を切望している人が示されています。1 コリント 9 章は、神の御霊の新しい力を通して肉体が人間に服従することを示しています。ローマ人への手紙 7 章には、肉が支配的であり、人間はその支配下にあることが示されています。コリント人への手紙第一 9 章は、人間が優位に立ち、肉が服従することを明らかにしています。この祝福された事態の逆転は回心によってもたらされます。神の力、神の霊によって、人間は罪深い愛情と欲望をすべて伴って肉に対して横暴になります。そして聖霊を通して、「信仰の善戦」の戦いにおいて、その愛情と快楽によって肉を十字架につけます。テモテ第一 6:12。

人間は肉から完全に解放されることで救われるわけではありません。しかし、すべての邪悪な傾向と肉欲を克服し、支配する力を受け取ることによってです。

人間は、誘惑の領域から解放されることで人格を成長させることはありません（実際、決して成長することはできませんでした）。しかし、力を受け取ることによって、まさに彼らがいる誘惑の場で、あらゆる誘惑に打ち勝つことができます。「私たちが誘惑に導かず、悪から救い出してください。王国と力と栄光は永遠にあなたのものです。アーメン」。マタイ 6:13。ルカ 11:4。

イエスは「わたしは世に勝った」と宣言されました。ヨハネ 16:33 「イエス・キリストが神の子であると信じる者以外に、世に勝つ者は誰でしょうか。」ヨハネ第一 5:5 「勝利する者は、第二の死による害を決して受けません。」黙示録 2:11 「勝利する者と、わたしの業を最後まで守る者に、わたしは諸国民を治める権威を与える。」黙示録 2:26。

人間が肉体から完全に解放されることで救われるのであれば、イエスはこの世に生まれる必要はなかったのです。もし人間があらゆる誘惑から解放され、誘惑のない環境に置かれることによって救われるのであれば、イエスはこの世に生まれる必要はなかったでしょう。しかし、このような解放によって人間は人格を成長させることは決してできません。したがって、イエスは、まさにご自分がいる場所で人間を肉体から完全に解放することによって人間を救おうとするのではなく、人間がいるまさにその場所にこの世に来て、肉を着てくださいました。そして、ありのままの肉体が、そのすべての傾向と欲望を備えていることに気づきました。そして信仰によってもたらされた神の力によって、神は「肉における罪を非難」し、それによって人間をまさに肉の力と罪の法則から解放する神の力をもたらし神の信仰を全人類にもたらしたのです。彼がどこにいるのか、そして彼に肉体に対する確かな支配を与えてください。イエスはこの肉に知られているすべての誘惑に直面し、その一つ一つを克服されました。そしてこの勝利によって、彼は世界中のすべての魂に勝利をもたらしました。彼の祝福された御名に賛美あれ！「イエスの信仰」を受け入れ、守り続けるすべての魂は、この勝利を完全に得ることができます。黙示録 14:12。「これが世、つまり私たちの信仰に勝つ勝利である」からです。レビューとヘラルド、1900年9月18日。

罪は肉において有罪と定められています！

「しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、善良さ、忠実さ、優しさ、自制心です。そのようなものを禁止する法律はありません。そして、キリスト・イエスに属する者たちは、その情熱と欲望とともに肉を十字架につけました。私たちが御霊のうちに生きているなら、私たちも御霊のうちに歩みましょう。自慢したり、互いに挑発したり、妬み合ったりすることに夢中にならないようにしましょう。」ガラテヤ 5:22-26。
の精神

神は、その満ち足りた状態を各信者に無償で与えられていますが、神の御霊に導かれている人々においては、肉が望むことを達成できないように、肉と戦っています。そのような中では神の御霊が支配し、「肉の業」の代わりに「御霊の実」を人生に現わせます。

「そのようなことを行う者は天の国を受け継ぐことができない」と書かれています。ガラテヤ 5:21。コリント人への手紙第一 6:9 参照。しかし、神は、あらゆる情熱、欲望、肉欲にもかかわらず、すべての魂が「聖霊の賜物とキリストの恵みによって天の国を受け継ぐことができるように」完全な備えを整えてくださいました。キリストにあってはあらゆる点で戦いが行われ、完全な勝利がもたらされました。イエスはそれ自体、肉とされ、罪から救い出されるために来た人々と同じ肉と血とされました。彼はあらゆる点で私たちと同等にされました。彼は「あらゆる点で私たちと同じように誘惑を受けましたが、罪はありませんでした」。ヘブライ 4:15 もしこれらの「事」のいずれかにおいてイエスが「私たちに似て」いなかったとしたら、その時点でイエスが私たちと同じように誘惑されることはあり得ず、したがって「私たちに似て」誘惑されることもなかったはずです。」

イエスは「あらゆることにおいて私たちと同じように誘惑に遭われた」ため、「私たちの弱さを痛感され」ました。

イエスが誘惑されたとき、私たちが誘惑されたときに感じるのと同じように、イエスは肉の欲望や傾向を感じられました。なぜなら、「人はそれぞれ、自分の貪欲に惹かれ、誘惑されるとき、その貪欲に誘惑されるからです」。ヤコブ 1:14。誘惑を受けることは罪ではないので、イエスは罪を犯さずにこれを経験しました。不法が思いつかれたとき、欲望が大切にされたとき、傾向が認められたときのみ、そのときにのみ罪が生み出されます。

イエスは、たとえ考えたことであっても、欲望を大切にしたり、肉の傾向を認めたりすることは決してありませんでした。このように、イエスは、私たちのような肉体において、私たちと同じようにあらゆる点で誘惑を受けましたが、罪の痕跡もなく、神への信仰を通して受けた神聖な力によって、私たちの肉体において、罪のあらゆる傾向を完全に抑え込まれました。そして肉のあらゆる欲望を根本から効果的に殺します。そして、「神は罪のある肉に似た姿で、そして罪に関してご自身の御子を遣わされました。そして事実上、神は肉における罪を非難したのである。」ローマ 8:3。そうすることでイエスは完全な勝利を収め、世界中のあらゆる魂のためにイエスを守り続ける神の力を獲得されました。この完全な勝利は、キリスト・イエスにあるすべての魂にとって無料です。それはイエスへの信仰によって受け入れられます。それは、イエスが完全に発展させ、イエスを信じるすべての人に与えた「イエスの信仰」によって満たされ、維持されます。「これが世に打ち勝つ勝利、私たちの信仰だから」。ヨハネ第一 5:4。

彼は人類を神から引き離す「敵意をその肉体において廃止し」、「二人を」（神と人が神から離れ）、「神は自らのうちに新しい人を創造し、平和を築いた」のです。エペソ人への手紙 2:15。彼は「肉の敵意を廃し、ユダヤ人と異邦人、つまり敵意にさらされているすべての人類を、十字架を通して神と一つの体に和解させ、それによって敵意を減ぼしました。」エペソ人への手紙 2:16。敵意は「彼の肉体に」ありました。そして、そこで「肉体において」神はそれを破壊し、廃止しました。そして神は「肉体において」それを行うことによってのみこれを行うことができました。

このようにして、イエスは、まさにこの呪いが人類に起こるのと同じように、その呪いを完全に自ら引き受けました。イエスはこれを、「ご自身を私たちの呪いにする」ことによって行われました。ガラテヤ 3:13。しかし、「理由のない呪いは成就しない」

(箴言 26:2)そしてそれは決して起こりませんでした。呪いの原因は罪です。イエスは私たちの罪のために呪いとされました。私たちのためにそのような呪いに対処するには、私たちの中に存在する罪と向き合わなければなりません。この意味で、「罪を知らなかった方が[神]は私たちのために罪とされた」、そしてこれは「私たちが神の義となるため」です。

IIコリント 5:21. あらゆる点で私たちと同じように、肉の傾向や傾向は、たとえ思考においてさえも、神の側で決して許されたり認識されたりすることはありませんでした。しかし、それらのそれぞれは、神の信仰を通して人類にもたらした神の力によって、根本から効果的に排除されました。

「したがって、子供たちは肉と血を共有しているので、神もまたそれらを共有しており、それは自分の死によって死の力を持つ者、つまり悪魔を滅ぼし、彼ら全員を救い出すためです。彼らは恐怖を通して死亡した人々は生涯を通じて奴隷制にさらされました。明らかに、神は天使を助けるのではなく、アブラハムの子孫を助けるからです。このため、彼はあらゆることにおいて兄弟たちと同じになること、神に関係することにおいては慈悲深く忠実な大祭司となり、民の罪のためになだめをすることが必要でした。なぜなら、神ご自身が誘惑を受けて苦しんだことによって、誘惑されている人々を助けることができになるからです。」ヘブライ人への手紙 2:14-18。

キリストが人間の肉体において成し遂げられたこの勝利は、今日イエスを信じる人間の肉体を持ったすべての人を救う聖霊によって達成されます。なぜなら、聖霊を通してキリストの臨在そのものが信者に臨在するからです。それは神の絶え間ない願望であり、「あなたがたが内なる人の中にある神の御霊を通して力によって強められるように」という願いを叶えてくださいます。そして、愛に根ざし、愛に根ざして、信仰によってキリストをあなたの心の中に住まわせてください。そうすれば、あなたはすべての聖徒たちとともに広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、すべてを超えたキリストの愛を知ることができるでしょう。あなたが神の満ち足りたもので満たされることを理解してください。」エペソ人への手紙 3:16-19。

今日、罪とその力からの解放は、ほぼ2,000年前に人間の肉体を持ったキリスト・イエスが自ら臨在されたことによってもたらされました。キリストが「昨日も、今日も、そして永遠に同じ」（ヘブライ人への手紙 13:8）であるのと同じように、キリストの福音は「永遠の福音」（黙示録 14:6）であり、昨日も今日も永遠に同じです。それは、イエス・キリストの「肉体において現れた神」でした（「インマヌエル…、神は私たちと共におられます」 - マタイ 1:23。「そして、あなたは彼の名前をイエスと呼ぶでしょう。」）。「罪深い肉体に似せて」 「}; 神はご自分の民をその罪から救うからです」マタイ 1:21）、そして今日、それは人間の「肉体において現れた神」です（「罪深い肉体」、彼があなたと共におられるように「慰め主」を受け取るのです）「永遠に、真実の御霊よ。世界は彼を見ることも知らないのだから彼を受け入れることもできないが、あなたは彼を知っている、なぜなら彼はあなたとともに住み、あなたの中にいるからである。」

ヨハネ 14:16 と 17)。

この福音は「あなたの内にあるキリスト、栄光の希望」です。 — キリストは「罪深い肉体」で、私たちの罪と罪深さのためにご自身をささげられたからです。そして、あなたは、ありのままにキリストを獲得し、神は「御自分においてわたしたちを選び」、「無償で愛する者においてわたしたちを与えてくださいました」。エペソ人への手紙 1:4 と 6。神はあなたをありのままに受け入れました。そして、「あなたの内なるキリスト、栄光の希望」という福音は、あなたを神の恵みの王国の下に導き、神の御霊を通して、あなたをキリストと神の力に従属させます。「肉の働き」の代わりに、「霊」があなたの人生に現れます。

ガラテヤ 5:19. 御霊の実は次のとおりです。

愛 - 神の御霊によって心に注がれる神の愛。

そして、憎しみやその発現が決して許されるのではなく、たとえ思考の中でも、彼を愛する以外のことをさせるようなことを彼に対して行うことは誰にもできないのです。なぜなら、この愛は神の愛であり、「昨日も今日も永遠に同じ」だからです。見返りを期待するのではなく、単純なことを愛する

愛するという事実。彼が愛しているのはただ愛であるからであり、それだけであれば彼は他のことをすることはできません。

楽しみ - それは永遠であるため、現在と未来の善から得られる熱烈な幸福です。その意味で、それは常に存在しており、常に楽しみにしているものです。したがって、それは「大満足」を表します。

PEACE - 心に君臨する完全な平和 - 「すべてを超えた神の平和」
それは、それを持っている人の「心と精神を保つ」ものです。

長さ、優しさ、信仰 - この信仰、ギリシャ語でピスティスは、確固たる信念です。知識ではなく信頼に基づく確信（頭ではなく「心」の信仰、信条ではなくキリストへの信仰）。確固たる信念によって確立され、遵守され、対立する矛盾を無視する信頼。

優しさ、節制 - 節制とは自制心です。このように、神の御霊は人間を自らの情熱、欲望、罪深い習慣への服従から解放し、人間を自由な人間、自分自身の主人にするのです。

「そのようなものを取り締まる法律はない。」神の律法は何かに対してではなく、罪に対してです。人間の生活において、神の律法は、神の霊の実以外のすべてのものに反します。したがって、神の霊の実以外の人間の生活のすべてが罪であることは確かです。そしてこれは言い換えれば、「信仰から生じないものはすべて罪である」という永遠の真理を肯定するのと同じです。ローマ人への手紙 14:23 したがって、「私たちが御霊のうちに生きているなら、私たちも御霊のうちに歩みましょう。」ガラテヤ 5:25. また、私たちが御霊の中に生き、御霊の中を歩んでいますので、「自慢したり、互いに挑発したり、互いにねたんだりすることに夢中にならないようにしましょう。」ガラテヤ 5:26。

10 - 完璧になりなさい

「ですから、キリストの教義の基本原則は脇に置いて、完全なものに向かって自分を導いていきましょう。」ヘブライ人への手紙 6:1 「あなたの内にあるキリスト、栄光の希望。私たちはこのことを宣言し、すべての人に警告し、すべての人に知恵を尽くして教え、すべての人をキリストにおいて完全にすることができるようにします。」コロサイ 1:27 と 28. 私たちには完璧が期待されています。あなたも私もそれを期待しなければなりません。私たちは、神が定めた完全性の基準を完全に満たさないものを自分自身の中に受け入れてはなりません。期待されていないと考えること以上に、完璧を達成することを妨げるものは何でしょうか？あなたと私が完璧に到達しなければならないという概念をその言葉が伝えていることが確立されたら、あなたと私が考慮すべき唯一のことは形式です。以上です。

自分自身の中にあること、自分がしてきたこと、そして神が定めた完璧にほんの少しでも足りない自分自身のことは何一つ受け入れず、それを各人が確立し、永遠に定着させましょう。そして、ただそのことを知ろうと努めましょう。それを手に入れる方法、そしてそれは実現します。神の言葉はそう言っています。そうです。では、基準とは何でしょうか？

「ですから、あなたの天の父が完全であるように、あなたも完全でありなさい。」マタイ 5:48. 神の完全性が唯一の基準です。ですから、あなたも私もそこに立って、自分自身と向き合い、私たちの中に神のような完全性があることを常に自分自身に要求しなければなりません。そしてこれを誘電率の粒子では考慮しません。

また、私たちの中にある完璧に満たないものについても言い訳を求めません。

私たちが神のような偉大さにおいて完璧であることも、神のような全能性においても、全知においても完璧であることはできないことは十分に明らかです。それは神の人格のような完全な人格であり、あなたと私のために達成すべき目標として確立されたものであり、私たちはそれを受け入れなければならず、自分自身の中でのみ受け入れることになります。ですから、あなたと私が所有しなければならないのが神ご自身の完璧であり、それを私たちが自分自身から受け入れるだけであり、私たちが常にその基準を守るとき、あなたと私が常に完璧を保つことだけが唯一のことであることがすぐにわかります。 . 思考、言葉、行動における神の裁きの存在。これを行う者だけが安全です。そこは、私たちが義人であろうと悪人であろうと、私たち一人一人が留まりたいと願う場所です。それなら、そこに留まって問題を解決してみたいか?あなたと私は、裁判官イエス・キリストの玉座の前に立ち、そこでそれぞれがその基準によって測られることが定められています。神は「神が運命を定め、誰よりも信じた人を通して、正義をもって世界を裁き、死人の中からよみがえらせる日を定められた」。使徒 17:31。

私の在り方は標準ではありません。神の完全性が唯一の基準です。有限な精神では神の完全性を測ることはできません。基準を測ることができないなら、たとえそれが与えられたとしても、どうやってその基準に到達することができるのでしょうか?それを達成することは完全にあなたを超えています。「本当に、そのとおりだと私は知っています。なぜなら、人はどうして神と正しくなるのでしょうか?誰かが神と争うなら、神は千の事柄のうちの一つにも答えることができないだろう...強大な神の強さに関して言えば、神はこう言われるだろう、「私はここにいる。私はここにいる。」正義なら、誰が私の言葉を引用するのでしょうか?たとえ私が正義であっても、私の口は私を非難します。私には何の罪もありませんが、神は私に有罪を問うでしょう。私は正義です、私は自分の魂を考慮しません、私は自分の人生を気にしません...たとえ私が雪水で身を洗い、腐食剤で手を清めたとしても、それでもあなたは私を泥の中に沈めます、そして私自身の彼らは私を嫌悪する服装をするだろう。」ヨブ 9: 19-21,30,31。そうであれば、完璧とは自分自身で達成しなければならないものであるという考えを永久に捨てましょう。神はそれを待ち望んでおり、そのための備えを備えておられます。これが私たちが創造された目的です。私たちの存在の唯一の目的は、まさにそれ、つまり神の完全性、神の性質を備えた完璧なものになることです。私たちは神と同じような性格を持つてはなりません。彼の性格そのものが私たちの性格に違いありません。そしてそれだけがキリスト教の完全性です。

「私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。彼は、ちょうど世界の基が置かれる前に私たちをキリストにあって聖なる者となるよう選んでくださったのと同じように、キリストにあって天上であらゆる種類の霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。神の前では罪のない者です。そして恋に。」エペソ人への手紙 1:3 と 4。これが、神が私たちが造られた理由であり、すべてが存在する理由なので、私たちは今、自分の存在の目的を果たし、愛のうちに聖く、罪のない神の前に立ってはどうでしょうか。

「神は、すべての満ち足りたものが神の内に宿り、十字架の血によって平和を築いた後、地上であろうと天上であろうと、神を通してすべてのものをご自分と和解させることを喜ばれたからです。そして、あなた方もまた、かつては自分たちの悪行のゆえに心の中では他人であり、敵であったのに、今では神はその肉の体においてあなたたちを和解させ、神の前に聖なる、非の打ち所のない者として差し出してくださいました。」

コロサイ 1:19-22。神はこの目的のために私たちを創造されました。罪は私たちをその目的から完全に遠ざけましたが、キリストは当初の目的が達成されるように十字架に耐えることを喜ばれました。キリストの血が流されたのは、キリストが私たちを「神の御前に聖く、非難のない、非のうちどころのない」者として示すためでした。したがって、

キリスト教の完全さへの道は十字架を通してです。他のパスでは十分ではありません。

キリストは十字架を通してそれを獲得されました。したがって、あなたと私が歩む唯一の道は十字架の道です。神はご自身がそれを達成するという備えを設けられました。私たちはそのために彼に従うつもりはまったくありません。

「そして、キリストの賜物の割合に応じて、恵みが私たち一人一人に与えられました。したがって、それはこう述べています :彼は高いところに昇られたとき、捕虜を導き、人々に贈り物を与えました。さて、彼が地球の下層地域にも降りたということでないとしたら、彼が昇るということは何を意味するのでしょうか ?降臨された方は、すべてのものを満たすために、すべての天の上に昇られた方でもあります。そして神ご自身が、ある者を使徒として、ある者を預言者として、またある者を伝道者として、またある者を牧師や教師として与え、その目的は、私たち全員が到達するまで、奉仕の遂行とキリストの体の教化のために聖徒たちを完全にすることを目的としていました。神の御子への信仰と知識から完全な人間性、そしてキリストの満ち足りた身長に至るまでの一致である。」エペソ人への手紙 4:7-13。

十字架が私たちにもたらしたものは、私たちの手の届くところに置かれ、神の恵みがそれを私たちに与え、私たちの内でそれを実現します。神の賜物は聖徒たちの完成のために与えられます。私たちは賜物を切望し、その賜物を祈り、神の目的を満たす賜物を受け取るべきです。そうでなければ私たちは何をしているのでしょうか ?私たちはそれを測定することはできません。そして、もし私たちがそのような高みを与えられたとしても、私たちは彼らの高みに到達することはできません。それが私たちの創造の目的です。そして、その目的が罪によって挫折したとき、神は十字架の血によってすべての人にそれを可能にし、聖霊の賜物によってすべての信者を安全にしました。「今、あなたがたがまずくことを防ぎ、栄光の前で汚れのない歓喜をあなたに与えることができる方、私たちの主であるイエス・キリストを通して、栄光と威厳と帝国と主権を、何よりもまず唯一の神、私たちの救い主に捧げてください。昔も今も、そしてあらゆる時代に。アーメン"。ユダ 1: 24 と 25。

イエスはあなたに汚れのない状態を与えることができます。いつ ?イエスは昨日も今日も永遠に同じです。彼は今でも当時と同じくらい能力を持っていますし、これからもそうです。罪が支配していたとき、それは絶対的なものであったため、正しいことをするよりも間違っただけをすることが簡単でした。恵みが支配しているときは、間違っただけをすることも正しいことをすることが簡単です。それが比較です。罪の力が打ち砕かれ、恵みが支配するとき、恵みは罪に対して支配し、罪の力をすべて追い出します。その手段は明らかです。「罪が死によって支配したように、恵みが義によって支配し、私たちの主であるイエス・キリストによって永遠の命に至るためです。それで、何と言いましょか ?恵みをもっと豊かになるように、私たちは罪の中に留まり続けるのでしょうか ?全くない"。「そんなわけがない！」と書かれています。ですから神は私たちが罪を犯すのをやめるように望んでおられます。神がそれを意図しておられると知っているなら、私たちは自信を持ってそれを期待することができます。それを待たなければ、それは決して起こりません。「罪に対して死んだ私たちは、どうやって罪の中で生き続けるのでしょうか？」

死んだら埋葬が伴います。死へのバプテスマによって主とともに葬られ、新たな命の中でよみがえらされ、「私たちの老人が主とともに十字架につけられたこと、罪の体が滅ぼされるため、奴隷として罪に仕えることがないように、このことを知っていました。」私たちの前に道標が用意されており、それは十字架の道です。何の目的でしょうか ?「それは、罪の体が滅ぼされ、私たちが奴隷として罪に仕えることがなくなるためです。」

したがって、罪の束縛からの自由は、十字架と破壊によってのみ得られます。

あなたは罪を選びますか、それとも破壊と十字架を好みますか ?あなたは破壊を選択して罪から逃れますか ?それとも罪と破壊を好みますか ?これが質問です。これは代替手段ではありません。逃れるために破壊から逃れることを望む者

破壊は破壊と出会う。破壊を選択した者は破壊を免れます。

さて、キリストの十字架による滅びの道は救いの道です。破壊を救いと交換し、それを永遠の所有物として手にする者は、決してこの救いを失うことはありません。神はいつ私たちが罪のない状態で栄光の御前に現してくださるのでしょうか？今；そして唯一の道は滅びの道です、なぜなら滅びは救いだからです。このように、交換を決定するのは難しいことではありません。それは人類がこれまでにアクセスできる最大の取引です。

キリスト教の完全さ : 十字架につけられ、破壊され、今後は罪に仕えなくなる。
罪に対する死、洗礼の象徴としての埋葬、新たな命への復活、新たな誕生。

「死んだ人は罪から義と認められるからです。」ローマ 6:7. したがって、私たちが自問する必要がある質問は、「私は死んだのか?」ということです。「私たちがすでにキリストとともに死んだとしても、私たちはまたキリストとともに生きるだろうと信じています。」ローマ人への手紙 6:8. ローマ人への手紙 6 章の最初の節は、私たちが罪から自由になることを意図しています。2番目も。6番目は、今後私たちは罪に仕えないことを宣言します。7番目は、死んだ人は罪から解放されていると言っています。8番目は、もし私たちがキリストとともに死んだとしても、私たちはキリストとともに生きるだろうと宣言しています。神は義の中で生きていますか、それとも罪の中で生きていますか？ローマ人への手紙 6:1,2,6,7,8,9,10,11,12,13,14 節は、私たちが罪から自由になることを暗示しています。「完璧を目指しましょう。」かつて罪の中で死んだキリスト（「キリストが私たちのために罪になったから」）がもはや死の支配権を持たないのと同じように、罪は依然として私たちに支配しているのでしょうか？「あなたがたは、死に至る罪にせよ、義に至る従順にせよ、自分を服従させる僕として差し出す者、つまり自分が従う者は僕であることを知らないのか？」

もしあなたが罪の力から解放されれば、あなたは神の僕となるでしょう。もしあなたがまだ罪の支配下にあるなら、あなたはサタンの僕です。奉仕者は奉仕しなければなりません。「ひとたび罪から解放されると、あなたたちは義の僕とされたのです。」ローマ人への手紙 6:18. 神はそれを肯定しており、そのとおりです。正義の奉仕者でいてくれたことを神に感謝します。彼はそれをこのように作りました。なぜなら、彼はこう宣言しているからです。「あなたたちが罪の奴隷であったとき、あなたたちは義から免除されていたのです。」ローマ人への手紙 6:20。

「しかし今、あなたは罪から解放され、神の僕に変えられ、聖化に至る実を結び、最終的には永遠の命を得ています。」ローマ人への手紙 6:22。

ローマ人への手紙 6 章は罪からの自由から始まります。次に罪からの自由。目の前には正義の奉仕者たち。それから聖性。それから永遠の命。これがキリスト教の完全性への道です。それは十字架の道、罪の体の滅びの道です。罪を犯す自由。正義の奉仕。聖性、聖霊によるイエス・キリストにおける完全さ、永遠の命。キリストがこの罪の世界に入り、罪深い肉体、つまり世の罪を背負った彼の肉体と私の肉体に入られた道、彼が完全に、そして完璧に至るまで従われた道は、私たちのために確立された道です。

イエスは聖霊から生まれました。言い換えれば、彼は再び生まれ変わったのです。彼は神の独り子として天から地上に来て、新しく生まれました。しかし、キリストの働きの前には私たちに反するものです。イエスが罪を持たなかったことが私たちのために罪とされたのは、私たちがイエスにあって神の義となるためでした。生ける者、王子であり人生の作者である彼は、私たちが生きるために死んだのです。永遠の日から出て来る方、神の独り子は、私たちが新しく生まれるために新しく生まれました。イエスは新しく生まれ、神の性質にあずかりました。イエスは罪のうち人間として地上に新しく生まれましたが、それは私たちが再び天に、義に、そして神に生まれることができるようにするためでした。イエスは「知恵も身長も」要点まで成長した

「私はあなたから託された仕事を完遂し、地上であなたの栄光を讃えました」と言えることです。ヨハネ 17:3。

神に対する神の計画は完全に達しました。イエスは「苦しみを通して」完全にされたのです。その理由は、「イエスは御子でありながら、苦しんだ経験から従順を学び、完全にされた後、ご自分に従うすべての人に永遠の救いの創始者となった」からです。ヘブライ人への手紙 2:10。5:8 と 9。このように、イエスは苦しみを通して人間の肉において完全に達しました。なぜなら、私たちが人間の肉において完全に達しなければならないのは苦しみの世界だからです。常に成長しながらも、イエスは常に完璧でした。究極の完璧さだけが尺度ではありません。「キリストの満ち足りた身長」の尺度」というものがあります。「私たちが皆、信仰と神の御子についての知識の一致に達し、完全な人間性を獲得し、キリストの満ち足りた身長に達するまで、そして、私たちはもはや幼児のように、投げ捨てられることはない。あちらこちらに、あらゆる教義の風、人間の策略、誤謬に導く狡猾さによって運ばれます。しかし、愛の真理に従い、すべてにおいて頭であるキリストへと成長していきましょう。」エペソ人への手紙 4:14-16。

成長は必要です。生命のないところに成長はあり得ません。神についての知識の成長、神の知恵の成長、神の性質の成長、神の成長。したがって、それは神の命を通してのみ可能です。この命は、人間が新しく生まれるときに植え付けられます。彼は再び生まれ、聖霊から生まれます。そして神の命がそこに植えられており、それは神が「あらゆることにおいて神へと成長する」ためです。（種まき人のたとえ話で）植えられた種は神の言葉です。成長は神から来るものです。成長は完璧です。たとえそれが穀物の頭でなくても、穂全体でなくても、新芽は完璧で、完全に発達して強いです。成長速度に応じて、この時点でも、開発が完了し、成熟に達したときと同じくらい完璧です。それは神が創造したままなので完璧です。

神だけがそれに関わっていたのです。そのままで完璧です。新しく生まれ変わった新しいクリスチャンは、たとえまだ完全に成熟したクリスチャンではなかったとしても、完全です。成長は神の命でしかあり得ません。神の命令に従ってのみ成長することができます。良い種（神の言葉）は、その種類に応じて成長し、種を生み出さなければなりません。これがキリストの義です。「第七の天使の音が響き始める日、神の神秘は成就するであろう。」私たちはその日です。私たちはこの神秘を世界に伝えるために与えられています。それは世界のために完成されなければなりません。そしてそれを持っている人はそれを満たさなければなりません。神の神秘とは何でしょうか？

「あなたの内にあるキリスト、栄光の希望。」「神は……肉体となって現れる。」ですから、当時、この神秘は「神の戒めを守り、イエスへの信仰を持つ」14万4,000人の人々によって成就されなければなりません。黙示録 14:12。人間の肉体における神の働き、つまり人間の肉体、つまりあなたと私の中で現れる神の働きは達成されなければなりません。私たちはイエス・キリストにあって完全でなければなりません。御霊によって、私たちはキリストの満ち足りた身長に応じて完全な人間にならなければなりません。

「完璧を目指して前進しましょう。」神は私たちを罪の中にあつた不安定な基盤から救ってくださいました。唯一の基盤が、聖性への正義の奉仕、そして最終的には永遠の命となりますように。

そして、裁きに直面し、裁きの前に立ち、十字架と滅びに服従するすべての魂にとって、このことは神の方法に従って、そして神が私たちを義に導くと約束された短い期間内に達成されるでしょう。そうすれば、それはただ

神、神の尺度、神の基準、そしてキリストがパラダイムであり、神の働きは常に、すべてのものにおいて、どこでも、そして永遠に行われます。それでは、元気を出してください。キリストがあなたの最初で最後、そして永遠でありますように。レビューとヘラルド、1899年8月1日、7月18日と25日。

pedidos@ministerio4anjos.com.br

ウェブサイト www.advertencia_inal.com.br もご覧ください。

最終警告省の書籍を発見する

キリストとその義 - ワゴナー

許しのカ - ワゴナー

ローマ人への手紙 - ワゴナー

信教の自由 - ジョーンズ

良いニュース - ワゴナー

キリスト教の完全性への聖別された道 - ジョーンズ

ダニエル12章 - 1260日、1290日、1335日 - ハイロ・カルヴァーリョ

8人目 - ハイロ・カルヴァーリョ

終末の七つの警告 - ハイロ・カルヴァーリョ

未来を明らかにする黙示録 - ハイロ・カルヴァーリョ

しかし、私たちにとって神はただ一人、父であるハイロ・カルヴァーリョです。